

※PCB調査業務は削除しております

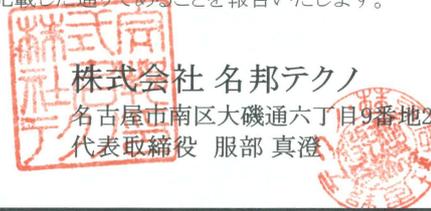
2024年10月31日

報告書No.63688

海部東部消防組合 御中

石綿含有建材の有無に関する事前調査等結果報告書

石綿含有建材の有無に関する事前調査結果は、下記に記載した通りであることを報告いたします。



株式会社 名邦テクノ

名古屋市南区大磯通六丁目9番地2

代表取締役 服部 真澄

調査件名	海部東部消防組合新庁舎整備に伴うアスベスト・PCB調査業務委託		
調査の種類	分析調査の基礎資料作成のための調査		
調査期間	2024年7月24日 ～ 2024年10月31日		
調査責任者	(所属・氏名)	株式会社名邦テクノ	石黒 大輔
	(資格名)	一般建築物石綿含有建材調査者	20406060506
	(講習機関名)	SAT株式会社	
対象物件概要	(施設名)	海部東部消防組合本部(第2車庫、第3車庫、付属舎)	
	(所在地)	愛知県あま市七宝町遠島十坪119-1	
	(竣工年)	本庁舎/付属舎:昭和47年、第2車庫:昭和50年、第3車庫:昭和60年	
	(分類)	建築物	(用途)
文書記録など	(図面)	竣工図、改修図	
	(増改築歴)	昭和60年本庁舎3階増築、平成20年改修工事	
	(過去調査歴)	令和6年2月13建材を分析調査(巻末書類:過去分析報告書を参照)他	
調査対象材料	調査範囲内の全ての建材、種類については次頁参照		
調査方法	書面調査・現地調査		
未調査範囲	隠蔽部		
調査概要	<p>【石綿懸念建材、本調査について】</p> <ul style="list-style-type: none">目視調査結果に示す通り、石綿が含有している可能性がある建材は69建材と判断した。過去の分析調査にて含有結果が出ている建材に関しては、過去の分析結果を踏襲した。本調査は非破壊でおこなったため、書面・目視調査のみで調査をした。隠蔽部等の破壊調査が必要な箇所を網羅してはいないため、改修工事前に再度調査を行う必要がある。 <p>【採取建材についての注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">隠蔽部アスファルト防水などは、コア抜き等専用の道具を使用して、採取をする必要があり採取後に雨漏れの可能性が否定できない。採取分析をおこなう際は、再度協議が必要である。		

添付資料:①調査対象 ②石綿懸念建材数量表 ③PCB調査結果一覧 ④現場配置図 ⑤現場仕上表
⑥目視写真表(PCB証明書) ⑦過去分析結果(抜粋)

調査対象石綿含有建材の種類

建材の種類	石綿含有吹付け材	石綿含有保温材等	石綿含有成形板等	石綿含有仕上塗材※2
	(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)	仕上塗材
対応石綿含有材	①吹付け石綿 ②石綿含有吹付けロックウール(乾式) ③湿式石綿吹付け材(石綿含有吹付けロックウール(湿式)) ④石綿含有吹付けパーミキュライト ⑤石綿含有吹付けパーライト	【石綿含有耐火被覆材】 ①耐火被覆板 ②けい酸カルシウム板第2種 【石綿含有断熱材】 ①屋根用折板裏石綿断熱材 ②煙突用石綿断熱材 【石綿含有保温材】 ①石綿保温材 ②けいそう土保温材 ③石綿含有けい酸カルシウム保温材 ④パーミキュライト保温材 ⑤パーライト保温材 ⑥不定形保温材 (水練り保温材)	①外壁・軒天 スレートボード、スレート波板、窯業系サイディング、押出成形セメント板、けい酸カルシウム板第1種 ②屋根 スレート波板、住宅屋根用化粧スレート ③内壁・天井 スレートボード、スラグせっこう板、パーライト板、パルプセメント板、けい酸カルシウム板第1種※1、せっこうボード、ロックウール吸音天井板、ソフト中木 ④床 ビニル床タイル、長尺塩ビシート、フリーアクセスフロア材 ⑤煙突 セメント円筒 ⑥その他 セメント管、ジョイントシート、紡織品、パッキン	①建築用仕上塗材(吹付けパーミキュライト、吹付けパーライトは除く) ②建築用下地調整塗材注)
発じん性	著しく高い	高い	比較的低い	比較的低い
具体的な使用箇所の例	①建築基準法の耐火建築物(3階建以上の鉄骨構造の建築物、床面積の合計が200m ² 以上の鉄骨構造の建築物等)などの鉄骨、はり、柱等に、石綿とセメントの合剤を吹付けて所定の被膜を形成させ、耐火被膜用として使われている。昭和38(1963)年頃から昭和50(1975)年初頭までの建築物に多い。特に柱、エレベーター周りでは、昭和63(1988)年頃まで、石綿含有吹付け材が使用されている場合がある。 ②ビルの機械室、ボイラ室等の天井、壁又はビル以外の建築物(体育館、講堂、温泉の建物、工場、学校等)の天井、壁に、石綿とセメントの合剤を吹付けて所定の被膜を形成させ、吸音、結露防止(断熱用)として使われている。昭和31(1956)年頃から昭和50(1975)年初頭までの建築物が多い。	①ボイラ本体及びその配管、空調ダクト等の保温材として、石綿保温材、石綿含有けい酸カルシウム保温材等を張り付けている。 ②建築物の柱、はり、壁等に耐火被覆材として、石綿耐火被覆板、石綿含有けい酸カルシウム板第2種を張り付けている。 ③断熱材として、屋根用折板裏断熱材、煙突用断熱材を使用している。	①建築物の天井、壁、床等に石綿含有成形板、ビニル床タイル等を張り付けている。 ②屋根材として石綿スレート等を用いている。 ③煙突や上下水道管に石綿セメント円筒や石綿セメント管が使用されている。 ④ダクトや配管のつなぎ部にジョイントシート(シール材)や石綿紡織品、パッキンなどが使用されている。	①建築物の外壁に仕上塗材が塗られている。 ②内装仕上げに仕上塗材が塗られている。 ③建築用仕上塗材を施工する際、建築用下地調整塗材を使用している。

出典:建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル令和3年3月P76

※1:石綿障害予防規則において特に石綿等の粉じんが発散しやすいものとして厚生労働大臣が定めた建材 隔離常時湿潤必要(特3と表記)

※2:石綿障害予防規則の改正に伴い2021年(令和3年)4月1日より石綿含有仕上塗材の除去工事に対する規制が新設されました。

石綿障害予防規則 第3条第5項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)
(JIS A 1481-1に基づく偏光顕微鏡法)

株式会社名邦テクノ 殿

貴殿より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) アスベスト分析マニュアル第3章
----------	---------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関

名称	株式会社アイテックリサーチ	代表者氏名	藤本 浩一 (印)
所在地	〒485-0828 愛知県小牧市小松寺三丁目153番地 TEL: 0568-41-6226 FAX: 0568-41-6276		
登録番号(作業環境測定機関)	23-74		
連絡担当者	技術グループ 松永 有司		
分析調査者氏名	分析調査者資格取得状況	民間機関による技能評価の取得状況	
神谷 圭吾	(一社)日本繊維状物質研究協会 分析調査者講習修了(2023年度) 第20230712-実偏性9-05号	日測協 (JIS A 1481-1 Aランク 認定No.2413A0004号)	
吉田 晋司	(一社)日本繊維状物質研究協会 分析調査者講習修了(2024年度) 第20240826-実偏性29-01号	日測協 (JIS A 1481-1 Aランク 認定No.2413A0006号)	

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2024年9月17日 ~ 2024年9月25日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	海部東部消防組合 消防本部 愛知県あま市七宝町遠島十坪119-1
------	-------------------------------------

1. 実体顕微鏡の形式

実体顕微鏡の 製造業者・形式	製造業者	(株)レイマー
	形式	SW-700TD
倍率		7～45倍
デジタルマイクロスコープ の 製造業者・形式	製造業者	(株)キーエンス
	形式	VHX-600
倍率		100～1000倍

2. 偏光顕微鏡の形式

偏光顕微鏡の 製造業者・形式	製造業者	(株)ニコン	オリンパス(株)
	形式	ECLIPSE LV100ND	BX53LED-33-DPH-2
コンデンサ		LV-CUDコンドライターレットコンデンサー	ユニバーサルコンデンサー
対物レンズ(倍率)		Plan Fluor (10倍,40倍)	UPLFLN(10倍,40倍)
分散対物レンズ		Plan Fluor 40x0.75 Ph2DS	PLN10XDS,UPLFL40NDS

* 電子顕微鏡の形式

電子顕微鏡の 製造業者・形式	製造業者	日本電子(株)
	形式	JSM-IT300
フィラメント		タングステンフィラメント
加速電圧		15kV
倍率		×5 ～ ×300,000
傾斜角範囲		-10～80
EDX検出器の 製造業者・形式	製造業者	日本電子(株)
	形式	JSM-IT300

3. 分析条件(分析室の温度)

分析室の温度(°C)	25
------------	----

1. 試料採取履歴(詳細)

採取年月日	2024年9月13日		試料No.	1
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質	綿状		
	試料の大きさ	約 10 g		
	採取方法	持込試料		

2. 前処理の状況

前処理の実施の有無	無
有の場合の調整方法	-

3. 分析結果

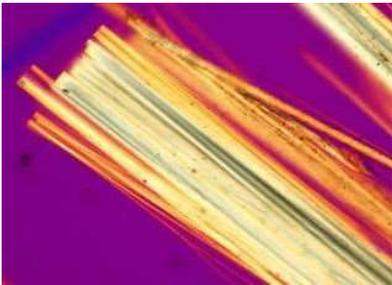
3.1 定性分析結果

石綿の有無	有
石綿の種類	アモサイト
推定石綿質量分率(%)	5-50
石綿以外で確認された繊維	無
コメント	-

3.2 層別の定性分析結果

層	色	割合(%)	名称	石綿の有無	検出された石綿の種類	推定石綿質量分率(%)
1	灰	100	煙突用断熱材	有	アモサイト	5-50
2	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-

4. 偏光顕微鏡法による分析用試料の写真(クロスポーラ+鋭敏色検板)

写真1	写真2
 <p>石綿の種類: アモサイト</p>	<p>石綿の種類: -</p>

注) 3.2記載の名称及び色は分析者の判断によるもので実際の建材とは異なる場合があります。

石綿含有建材有無に関する事前調査結果報告書

「指令管制システム更新業務委託」において石綿含有建材有無に関する調査結果は、下記に記載した通りであることをご報告いたします。

(会社名)日本電気株式会社 東海支社

調査の種類	石綿則第3条に基づく事前調査	
調査期間	令和5年11月27日～令和5年12月26日	
調査責任者	会社名)日本電気株式会社 氏名)山口 直人 資格名)一般建築物石綿含有建材調査者(修了番号:2307060509) 石綿主任技能講習 (修了番号:020002358号)	
分析機関	株式会社 東海テクノ (計量証明事業登録 第92号) 検査責任者)藤原 靖将 分析責任者)戸田 勝也	
分析方法	JIS-A1481-1	
対象物件概要	施設名	瀬戸市消防本部、尾張旭市消防本部、津島市消防本部、蟹江町消防本部、海部東部消防組合消防本部、海部南部消防組合消防本部、愛西市消防本部 各消防署、分署、出張所(計16箇所) 目視、書面調査 :3箇所 書面、目視、分析調査箇所:13箇所
	書面調査にて使用した書類	・入札時質問回答資料 別紙1(石綿事前対象施設) ・愛西市 消防庁舎アスベスト含有分析調査業務委託 報告書
	施設用途	公共施設
	建物構造	S造・RC造・SRC造
調査対象建材	石膏ボード、仕上げ塗材、フレキシブルボード、パーミキュライト ビニル床シート、ビニル床タイル、岩綿吸音板、ケイ酸カルシウム板、 クロス(接着剤)	
調査方法	書面調査・目視調査・分析調査	
備考		

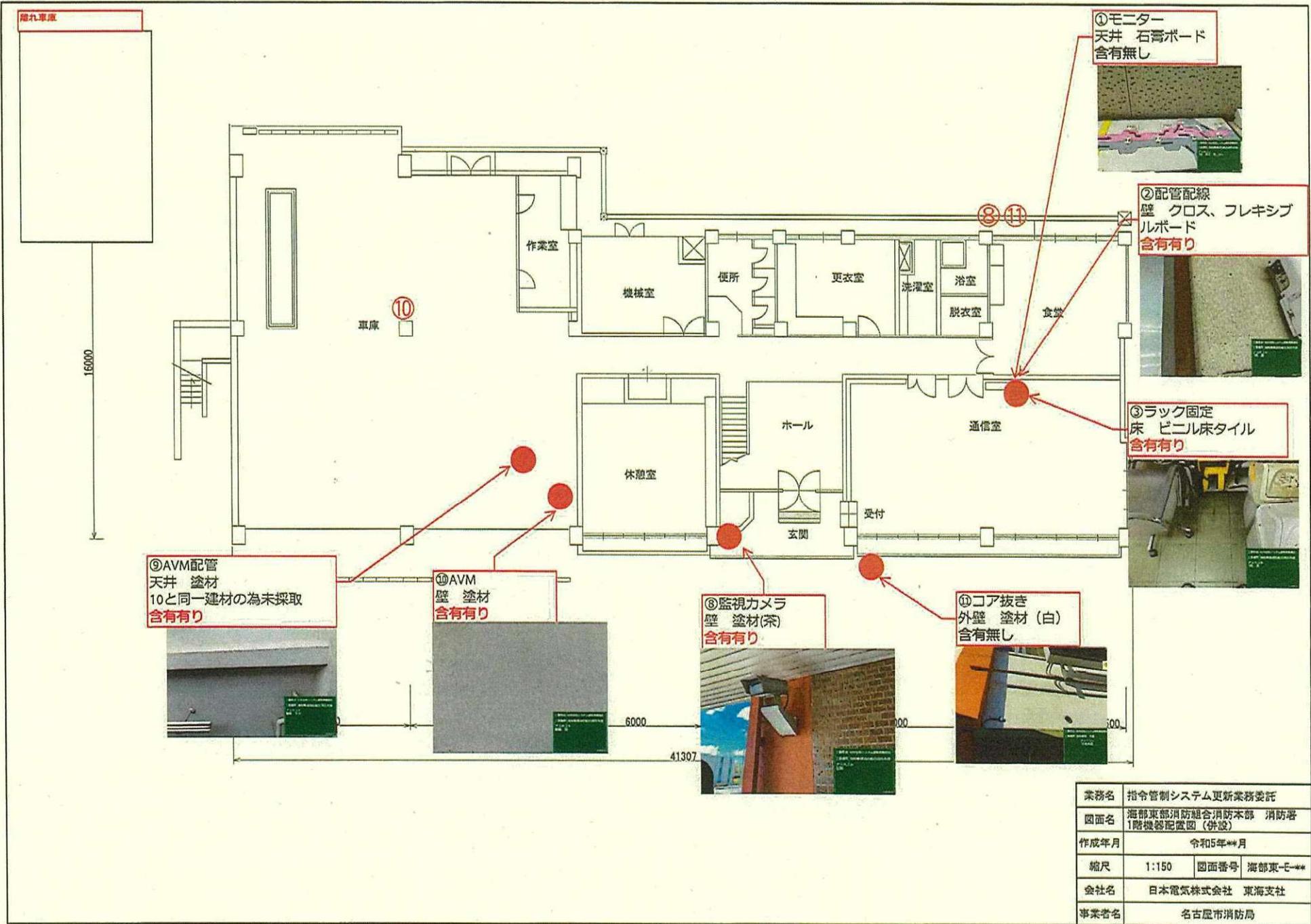
項目	番所 名称	対象場所	対象箇所	対象作業種別	写真No.	石綿含有建材の分類 (※参考)石綿含有建材の分類別				備考
						レベル	材料	石綿の有無、種類	推定含有量(%)	

海部東部消防組合消防1

No.5

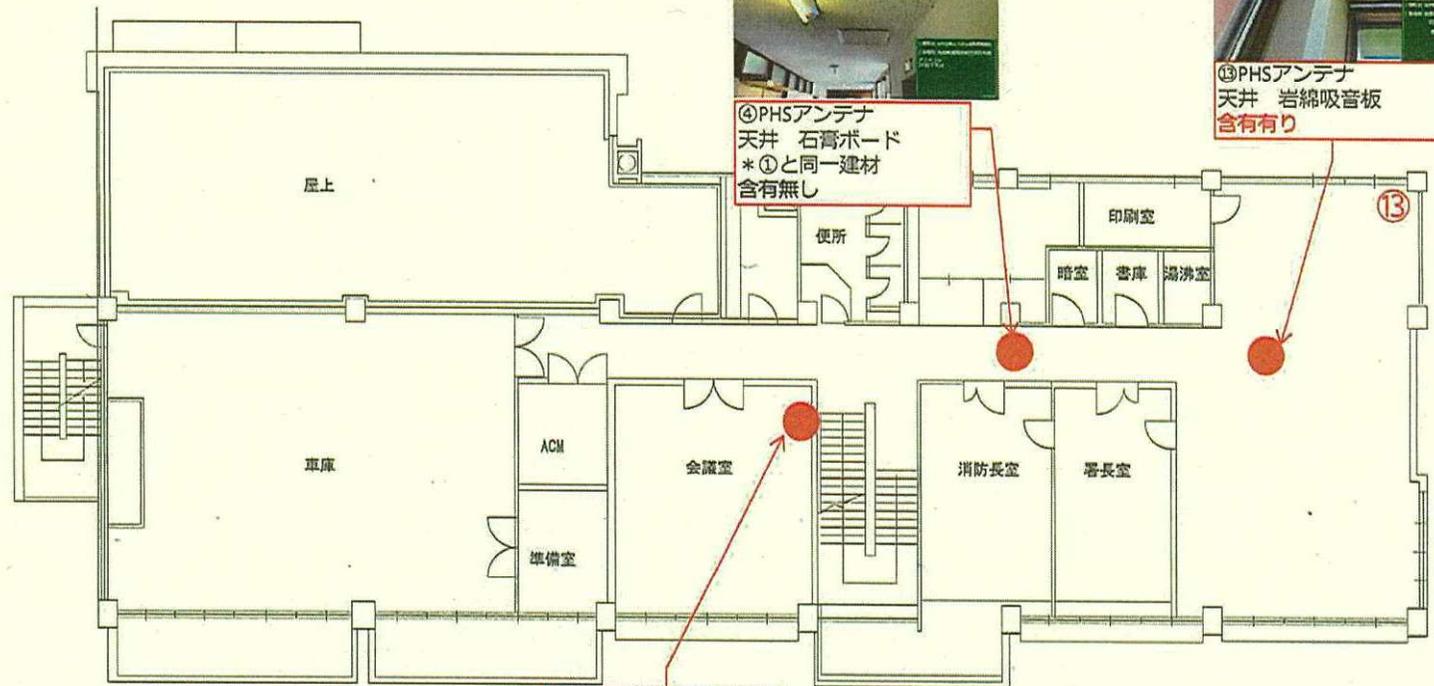
1	海部東部消防署	1F事務室	天井ボード	穴開け・切断	No.1	レベル3	石膏ボード	無	-		モニター
2	海部東部消防署	1F事務室	壁	穴開け・切断	No.2	レベル3	クレンシアシート	クリソタイル	5~50		配管配線
3	海部東部消防署	1F事務室	床	穴開け・切断	No.3	レベル3	ビニルシート	クリソタイル	0.1~5		ラック固定
4	海部東部消防署	2F廊下	天井ボード	穴開け・切断	No.4	レベル3	石膏ボード	無	-	1と共通	PHS
5	海部東部消防署	3F通信室	天井ボード	穴開け・切断	No.5-1	レベル3	岩綿吸音板	クリソタイル	0.1~5		配管配線
					No.5-2	レベル3	石膏ボード	無	-		
6	海部東部消防署	3F通信室	床	穴開け・切断	No.6	レベル3	ビニルシート	クリソタイル	0.1~5	7と共通	ラック固定
7	海部東部消防署	3F通信室機械室	床	穴開け・切断	No.7	レベル3	ビニルシート	クリソタイル	0.1~5		ラック固定
8	海部東部消防署	玄関	外壁(茶)	穴開け・切断	No.8	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5		カメラ、駆付
9	海部東部消防署	車庫軒	天井 軒	穴開け・切断	No.9	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5	10と共通	配管配線
10	海部東部消防署	車庫	壁	穴開け・切断	No.10	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5		AVM
11	海部東部消防署	庁舎	外壁(白)	穴開け・切断	No.11	レベル3	仕上塗材	無	-		コア抜き
12	海部東部消防署	2F査査事務員	天井ボード	穴開け・切断	No.12	レベル3	石膏ボード	みなし含有	測定不可	みなし含有	
13	海部東部消防署	2F事務室	天井ボード	穴開け・切断	-NO.13-1	レベル3	岩綿吸音板	クリソタイル	0.1~5		記録、AVI
					NO.13-2	レベル3	石膏ボード	無	-		
1	海部東部 北分署	1F事務室	天井ボード	穴開け・切断	No.1-1	レベル3	岩綿吸音板	無	-		モニター配線
					No.1-2	レベル3	石膏ボード	無	-		
2	海部東部 北分署	1F事務室	壁	穴開け・切断	No.2	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5		モニター
3	海部東部 北分署	1F事務室	床	穴開け・切断	No.3	レベル3	ビニルシート	クリソタイル	0.1~5		ラック駆付
4	海部東部 北分署	2F廊下	天井ボード	穴開け・切断	No.4	レベル3	岩綿吸音板	無	-	1と共通	PHSアンテナ
5	海部東部 北分署	2F廊下	壁	穴開け・切断	No.5	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5	2と共通	PHSアンテナ
6	海部東部 北分署	玄関	外壁	穴開け・切断	No.6	レベル3	タイル	みなし含有	測定不可	みなし含有	駆付通知
7	海部東部 北分署	車庫	壁	穴開け・切断	No.7	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5		AVM
8	海部東部 北分署	車庫	柱	穴開け・切断	No.8	レベル3	仕上塗材	みなし含有	測定不可	みなし含有	カメラ記録
9	海部東部 北分署	庁舎	外壁	穴開け・切断	No.9	レベル3	タイル	みなし含有	測定不可	みなし含有	監視カメラ
1	海部東部 南分署	1F事務室	壁a	穴開け・切断	No.1	レベル3	仕上塗材	無	-		モニター
2	海部東部 南分署	1F事務室	壁b	穴開け・切断	No.2	レベル3	石膏ボード	無	-		配管配線
3	海部東部 南分署	1F事務室	床	穴開け・切断	No.3	レベル3	ビニルシート	クリソタイル	0.1~5		ラック固定
4	海部東部 南分署	2F食堂	天井ボード	穴開け・切断	No.4	レベル3	石膏ボード	無	-		配管配線
5	海部東部 南分署	2F食堂	壁	穴開け・切断	No.5	レベル3	仕上塗材	クリソタイル	0.1~5		PHS
6	海部東部 南分署	2F収容室廊下	壁	穴開け・切断	No.6	レベル3	石膏ボード	クリソタイル	0.1~5		換気盤
7	海部東部 南分署	2F収容室廊下	天井ボード	穴開け・切断	No.7-1	レベル3	岩綿吸音板	無	-		配管配線
				穴開け・切断	No.7-2	レベル3	石膏ボード	無	-		配管配線

7. 海部東部消防組合消防本部 消防署 本署



業務名	指令管制システム更新業務委託		
図面名	海部東部消防組合消防本部 消防署 1階機器配置図 (併設)		
作成年月	令和5年**月		
縮尺	1:150	図面番号	海部東-E-***
会社名	日本電気株式会社 東海支社		
事業者名	名古屋市消防局		

19010
7470
9820
1170



④ PHSアンテナ
天井 石膏ボード
* ①と同一建材
含有無し



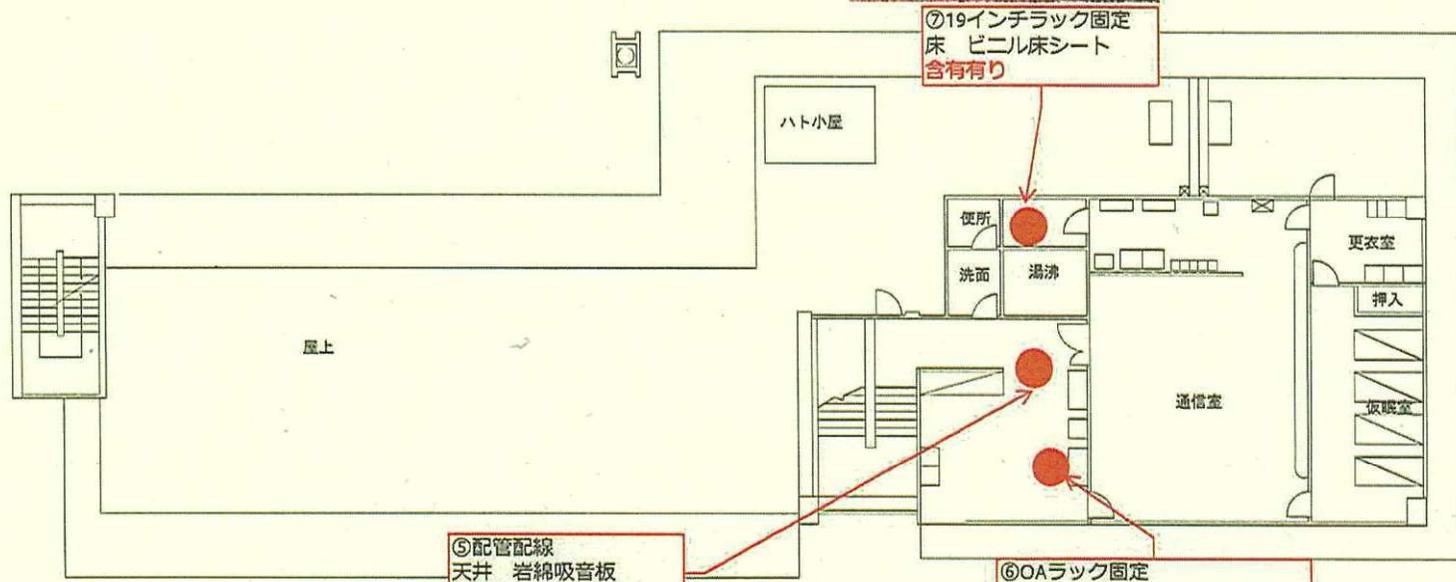
⑬ PHSアンテナ
天井 岩綿吸音板
含有有り

⑤配線
天井
*採取不可 みなし含有

8270 7650 6270 6270 6290 6560
41310

業務名	指令管制システム更新業務委託		
図面名	海部東部消防組合消防本部 消防署 2階機器配置図 (併設)		
作成年月	令和5年**月		
縮尺	1:150	図面番号	海部東-E-**
会社名	日本電気株式会社 東海支社		
事業者名	名古屋市消防局		

19010
7470
9870
1720



⑦19インチラック固定
床 ビニル床シート
含有有り

⑤配管配線
天井 岩綿吸音板
含有有り



⑥OAラック固定
床 ビニル床タイル
* 7と同一建材の為未採取
含有有り



8270 70 6270 41310 6560

業務名	指令管制システム更新業務委託		
図面名	海部東部消防組合消防本部 消防署 3階機器配置図 (併設)		
作成年月	令和5年**月		
縮尺	1:150	図面番号	海部東-E-***
会社名	日本電気株式会社 東海支社		
事業者名	名古屋市消防局		

アスベスト等調査・分析業務委託

報告書

2025年7月

エヌエス環境株式会社

目次

1. 業務概要	1
1-1. 業務件名	1
1-2. 業務目的	1
1-3. 業務期間	1
1-4. 関係法令	1
1-5. 委託者	1
1-6. 受託者	1
2. 業務内容	2
2-1. 調査地点	2
2-2. 試料採取現地調査	3
2-3. アスベスト分析	3
2-4. PCB 材種判定	3
3. 分析結果	4
3-1. アスベスト分析結果	4
3-2. PCB 材種判定結果	7

【巻末資料】

- ・ 石綿分析結果報告書
- ・ PCB 材種判定報告書
- ・ 現場写真集

1. 業務概要

1-1. 業務件名

アスベスト等調査・分析業務委託

1-2. 業務目的

海部東部消防組合消防本部の整備に伴い、事前調査結果を基に分析調査を実施し、同事業の円滑な整備進行を図ることを目的とした。

1-3. 業務期間

2025年4月8日から2025年7月31日まで

1-4. 関係法令

- ・海部東部消防組合契約規則
- ・労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- ・労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
- ・労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）
- ・石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）
- ・その他関連法令等

1-5. 委託者

海部東部消防組合

管理者 村上 浩司

【担当部署】

海部東部消防組合消防本部 総務課

〒497-0002 愛知県あま市七宝町遠島十坪119番地1

TEL：052-442-0624 FAX：052-442-1220

1-6. 受託者

エヌエス環境株式会社 中部支社

支社長 中村 稔

〒463-8541 名古屋市守山区瀬古東2-907

TEL：052-795-1180 FAX：052-795-1138

2. 業務内容

2-1. 調査地点

調査地点を図 2-1 に示す。

調査は赤枠の中の施設を対象とした。

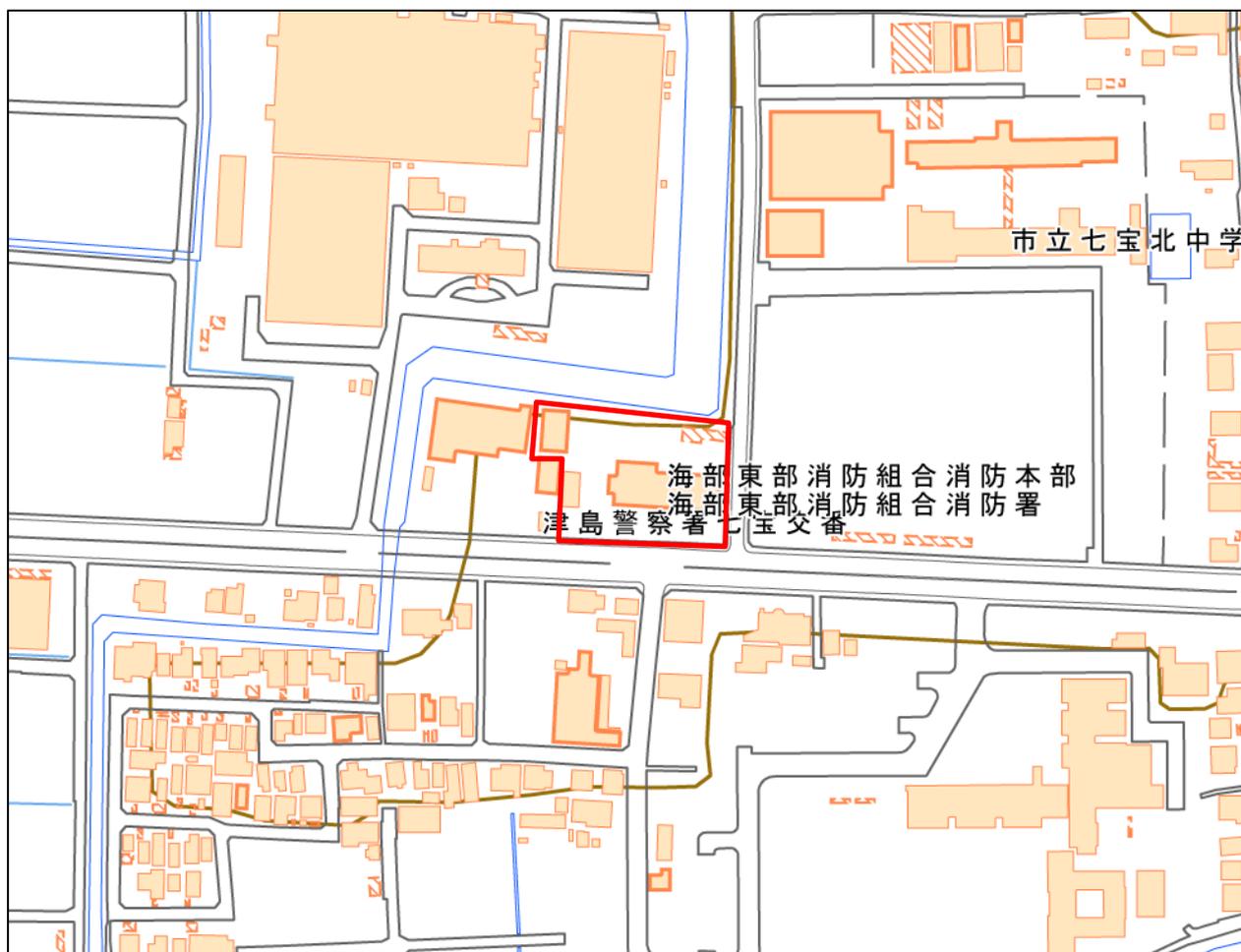


図 2-1 調査地点

2-2. 試料採取現地調査

試料の採取は、JIS A 1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法 第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」（平成28年3月22日）に沿って行った。

試料採取箇所数に関しては、原則一つの建材について、3箇所採取した。ただし、別の部位で同建材が使用されており、分析調査の結果が共有可能な場合等、部位ごとに3箇所の採取が必要ないと判断される場合は、発注者と協議を行い、採取箇所数を決定した。また、採取箇所の復旧についても発注者と協議を行い、決定した。

2-3. アスベスト分析

分析調査は定性分析とし定性分析の方法は、「建材製品中のアスベスト含有率測定方法 第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」（平成28年3月22日）に沿って行った。

アスベストの分析対象については、クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト及びアンソフィライトの6種類とし、定性分析の結果、含有が認められた建材は推定石綿含有量を出した。

2-4. PCB 材種判定

分析調査は材種判定（第一次判定）を行い、材種及びPCB含有分析の要否を判断した。

3. 分析結果

3-1. アスベスト分析結果

アスベスト分析結果を表 3-1 に示す。

総検体数 65 検体のうち 28 検体からアスベストが検出された。

表 3-1 (1) アスベスト分析結果 (庁舎)

No.	施設名	採取場所	採取部位	形状又は材質	定性結果	検出された石綿の種類	推定含有率 (%)	石綿が検出された材質
1	庁舎	外部 (建築当初)	屋根	塗膜防水 (下地防水モルタル)	含有無し			
2		外部 (建築当初)	庇	複層塗材	含有	クリソタイル	0.1~5	下地調整塗材から検出
3		外部 (増築部)	庇	塗膜防水 (ガムロン露出防水)	含有	アクチノライト	0.1~5	防水材から検出
4		外部 (増築部)	庇	石綿板VP	含有	クリソタイル	5~50	石綿板から検出
5		外部 (建築当初)	外壁	複層塗材	含有無し			
6		外部 (増築部)	外壁	複層塗材 (下地ALC)	含有無し			
7		屋外階段 (建築当初)	床	防水モルタル塗	含有無し			
8		屋外階段 (建築当初)	天井/段裏	複層塗材	含有	クリソタイル	0.1~5	下地調整塗材から検出
9		外部	門柱	仕上塗材	含有	クリソタイル	0.1~5	下地調整塗材から検出
10		建築当初	その他	シーリング材	含有無し			
11		増築部	その他	シーリング材	含有無し			
12		事務室・廊下他	壁	ラフтон吹付	含有	クリソタイル	0.1~5	塗材 (白色系) から検出
13		食堂	床	ノンスリップシート	含有	クリソタイル	5~50	接着剤から検出
14		食堂	巾木	ソフト巾木	含有無し			
15		食堂	壁	クロス (下地モルタル)	含有無し			
16		洗面所・便所	床	タイル (下地材)	含有無し			
17		洗面所・便所	壁	タイル (下地材)	含有無し			
18		仮眠室・消毒室・男子トイレ他	壁	モルタルVP塗装	含有無し			
19		機械室	壁	木毛板白セメント材	含有無し			
20		機械室	設備	エルボ保温材	含有	クリソタイル	0.1~5	珪藻土保温材から検出
21		機械室	設備	ダクトパッキン材	含有無し			
22		車庫	天井	白セメント吹付 (仕上塗材)	含有無し			
23		車庫	梁部	アクリル系シン吹付	含有無し			
24		消毒室・倉庫	床	長尺シート	含有	クリソタイル	5~50	接着剤から検出
25		講堂	天井	石膏ボードクロス貼	含有無し			
26		準備室	天井	石膏ボードEP塗装	含有	クリソタイル	0.1~5	塗材 (白色系) から検出
27		機械室	設備	キャンバス継手	含有	クリソタイル	50~100	キャンバス継手から検出
28		廊下 (天井内)	設備	麻巻保温材	含有	クリソタイル	0.1~5	麻巻保温材から検出
29		階段室	壁/段裏	ラフтон吹付	含有無し			
30		通信室	壁	ラフтон吹付	含有無し			
31		通信室	壁	有孔石綿板VP	含有	クリソタイル	5~50	石綿板から検出
32		通信室	床	フリーアクセスフロア脚部接着剤	含有	クリソタイル	0.1~5	接着剤から検出
33		機械室	設備	耐火バテ材	含有無し			
34		通信室	床	フリーアクセスフロア (表面材)	含有	クリソタイル	0.1~50	床材本体から検出
						クリソタイル	0.1~50	接着剤から検出
35		便所	壁	タイル (下地材)	含有無し			
36	機械室	巾木	ソフト巾木	含有	クリソタイル	5~50	接着剤から検出	
						5~50	成形板本体から検出	

表 3-1 (2) アスベスト分析結果 (第 2 車庫)

No.	施設名	採取場所	採取部位	形状又は材質	定性結果	検出された石綿の種類	推定含有率 (%)	石綿が検出された材質
37	第2車庫	バラベツト	屋根	塗膜防水	含有無し			
38		外部	壁/庇	アクリル系リシン吹付	含有	クリソタイル	0.1~5	下地調整塗材から検出
39		外壁	壁	複層塗材	含有無し			
40		柱型	柱部	複層塗材 (下地シリコン吹付)	含有	クリソタイル	0.1~5	下地調整塗材から検出
41		扉周り	窓	シーリング材	含有	クリソタイル	5~50	シーリングから検出
42		屋外階段	床	防水モルタル塗	含有無し			
43		車庫内	壁	モルタルVP塗装	含有無し			
44		車庫内	天井	白セメント吹付 (アクリル系リシン吹付)	含有無し			

表 3-1 (3) アスベスト分析結果 (第 3 車庫)

No.	施設名	採取場所	採取部位	形状又は材質	定性結果	検出された石綿の種類	推定含有率 (%)	石綿が検出された材質
45	第3車庫	外部	外壁	アクリル系リシン吹付	含有無し			
46		外部	庇	アクリル系リシン吹付	含有無し			
47		外部	外壁	シリコン吹付	含有無し			
48		外部	柱型	47角タイル貼	含有無し			
49		外部	その他	油性コーキング	含有	クリソタイル	0.1~5	コーキングから検出
50		増築部	外壁	リシン吹付 (下地ALC)	含有無し			
51		屋外階段	床	防水モルタル塗	含有無し			
52		車庫内他	壁	モルタルEP塗装	含有	クリソタイル	0.1~5	下地調整塗材から検出
53		車庫内	天井	ダイワライト (複合板)	含有無し			
54		廊下他	床	ビニルタイル	含有	クリソタイル	0.1~5	床材本体から検出
						クリソタイル	0.1~5	接着剤から検出
55		廊下他	壁	石綿板EP塗装	含有	クリソタイル アモサイト	0.1~5 0.1~5	石綿板から検出
56		廊下他	天井	有孔吸音板下地石膏ボード	含有	クリソタイル	5~50	有孔吸音板から検出
57		廊下他	巾木	ソフト巾木	含有	クリソタイル	0.1~5	塗材 (白色系) から検出
58		廊下他	床	ノンスリップシート	含有無し			
59	増築部	屋根	折板裏断熱材	含有無し				
65	トレーニングルーム	床	ビニルタイル	含有	クリソタイル	0.1~5	床材本体から検出	

表 3-1 (4) アスベスト分析結果 (付属舎)

No.	施設名	採取場所	採取部位	形状又は材質	定性結果	検出された石綿の種類	推定含有率 (%)	石綿が検出された材質
60	付属舎	外部	外壁	スレート板	含有	クリソタイル	5~50	スレート板から検出
61		外部	屋根	折板裏断熱材	含有無し			
62		外部	外壁	複層塗材 (リシン吹付)	含有無し			
63		外部	壁	モルタル刷毛引き	含有無し			
64		外部	扉周り	シーリング材	含有	クリソタイル アクチノライト	0.1~5 0.1~5	シーリングから検出

3-2. PCB 材種判定結果

PCB 材種判定結果を表 3-2 に示す。

PCB 材種判定の結果から、庁舎及び付属舎のシーリング材は、PCB 含有シーリング材ではないことが判明したため、PCB 分析は不要とした。

表 3-2 PCB 材種判定結果

No.	採取場所	材質	材種	PCB分析の要否
1	庁舎 外部	シーリング材	変成シリコーン系	不要
2	付属舎	シーリング材	油性コーキング材	不要

【卷末資料】

- ・ 石綿分析結果報告書
- ・ PCB 材種判定報告書
- ・ 現場写真集

石綿分析結果報告書

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部(建築当初) 屋根 塗膜防水(下地防水モルタル)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	5	-	-	-	-	-	-
2	塗膜防水	白色系	20	-	-	-	-	-	-
3	塗材	黒系	5	-	-	-	-	-	-
4	下地調整塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
5	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
6	塗材	黒系	5	-	-	-	-	-	-
7	塗材	乳白色	10	-	-	-	-	-	-
8	モルタル	灰色系	40	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

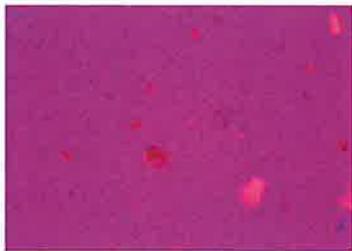
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部(建築当初) 庇 複層塗材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	緑系	5	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	5	-	-	-	-	-	-
4	塗材	緑系	10	-	-	-	-	-	-
5	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
6	主材	白色系	15	-	-	-	-	-	-
7	下地調整塗材	灰色系	10	0.1~5	-	-	-	-	-
8	モルタル	灰色系	40	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

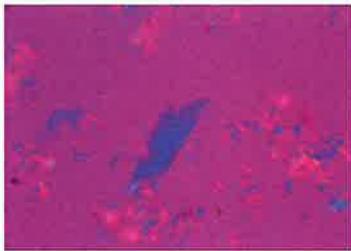
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部(増築部) 庇 塗膜防水(ゴムロン露出防水)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	アクチノライト検出
----	----	------	-----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	15	-	-	-	-	-	-
2	防水剤	黒系	65	-	-	-	-	0.1~5	-
3	接着剤	茶色系	10	-	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	10	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 有機繊維

備考 :

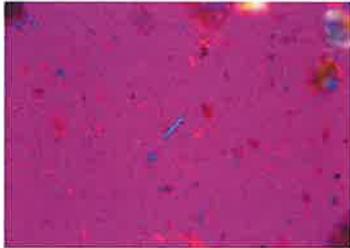
石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソファイライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：アクチノライト

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.630$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部(増築部) 庇 石綿板VP		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	緑系	5	-	-	-	-	-	-
2	塗材	緑系	5	-	-	-	-	-	-
3	主材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
4	塗材	乳白色	5	-	-	-	-	-	-
5	石綿板	灰色系	80	5~50	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 無し

備考 :

石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

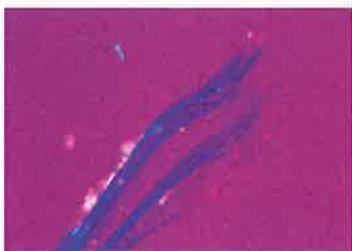
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部(建築当初) 外壁 複層塗材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	20	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	15	-	-	-	-	-	-
4	主材	白色系	20	-	-	-	-	-	-
5	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
6	主材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
7	モルタル	灰色系	20	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 有機繊維

備考 :

石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

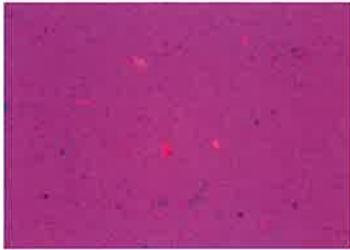
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部(増築部) 外壁 複層塗材(下地ALC)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
2	塗材	透明	2	-	-	-	-	-	-
3	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
4	塗材	透明	2	-	-	-	-	-	-
5	塗材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
6	主材	白色系	81	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

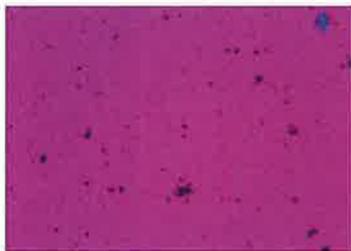
石綿の種類：Chr(クソタイト)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

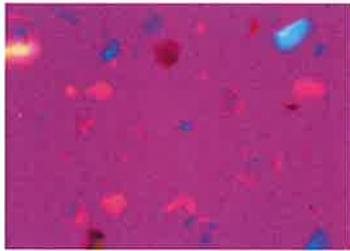
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	屋外階段(建築当初) 天井/段裏 複層塗材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
2	塗材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
4	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
5	塗材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
6	下地調整塗材	灰色系	20	0.1~5	-	-	-	-	-
7	モルタル	灰色系	40	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

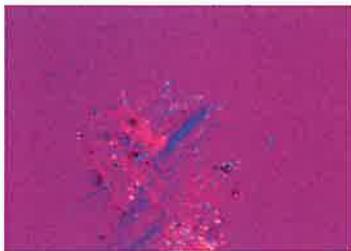
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

☎(06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均



貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	外部 門柱 仕上塗材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
2	塗材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
3	主材	白色系	20	-	-	-	-	-	-
4	下地調整塗材	灰色系	30	0.1~5	-	-	-	-	-
5	モルタル	灰色系	40	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値 (mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	建築当初 その他 シーリング材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	1cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	20	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	5	-	-	-	-	-	-
4	シーリング	灰色系	70	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 無し

備考 :

石綿の種類 : Chr(クソタイト)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徧ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徧島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	増築部 その他 シーリング材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	1cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
2	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
3	塗材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
4	主材	白色系	30	-	-	-	-	-	-
5	シーリング	白色系	55	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 有機繊維

備考 :

石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	事務室・廊下他 壁 ラフトン吹付		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	塗材	白色系	70	-	-	-	-	-	-
3	塗材	乳白色	5	-	-	-	-	-	-
4	塗材	白色系	10	0.1~5	-	-	-	-	-
5	下地調整塗材	灰色系	5	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

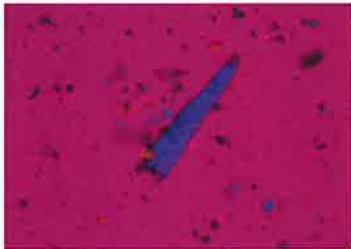
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	食堂 床 ノンスリップシート		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	床材 本体	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	床材 本体	白色系	60	-	-	-	-	-	-
3	接着剤	灰色系	10	5~50	-	-	-	-	-
4	モルタル	乳白色	20	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：人造鉱物繊維

備考：

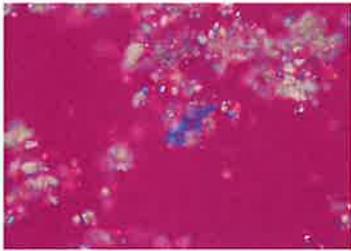
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	食堂 巾木 ソフト巾木		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	巾木	茶色系	60	-	-	-	-	-	-
2	接着剤	黄色系	10	-	-	-	-	-	-
3	クロス	乳白色	10	-	-	-	-	-	-
4	パテ	乳白色	20	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	食堂 壁 クロス(下地モルタル)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	クロス	乳白色	20	-	-	-	-	-	-
2	紙材	白色系	20	-	-	-	-	-	-
3	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	55	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

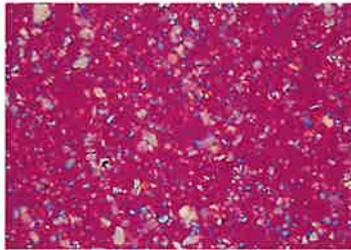
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂木町二丁目36番地27号

Tel (06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	洗面所・便所 床 タイル(下地材)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	タイル	灰色系	70	-	-	-	-	-	-
2	目地本体	灰色系	15	-	-	-	-	-	-
3	モルタル	灰色系	15	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロンドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徕ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徕島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	洗面所・便所 壁 タイル(下地材)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	タイル	灰色系	5	-	-	-	-	-	-
2	タイル	白色系	64	-	-	-	-	-	-
3	接着剤	乳白色	1	-	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	30	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

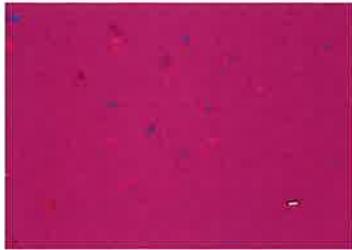
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	機械室 設備 エルボ保温材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	10cm3 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月20日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	グラスウール	黄色系	30	-	-	-	-	-	-
2	紙材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
3	珪藻土保温材	灰色系	65	0.1~5	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：人造鉱物繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	車庫 天井 白セメント吹付(仕上塗材)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	40	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	45	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

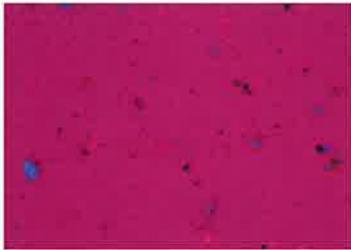
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	消毒室・倉庫 床 長尺シート		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	床材 本体	乳白色	10	-	-	-	-	-	-
2	床材 本体	白色系	60	-	-	-	-	-	-
3	接着剤	黄土色	10	5~50	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	20	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

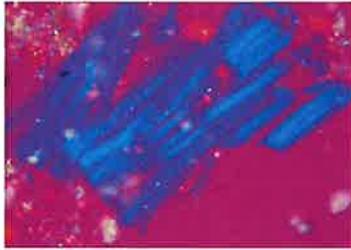
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	講堂 天井 石膏ボードクロス貼		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	クロス	白色系	10	-	-	-	-	-	-
2	紙材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
3	石膏ボード	白色系	80	-	-	-	-	-	-
4	紙材	灰色系	5	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

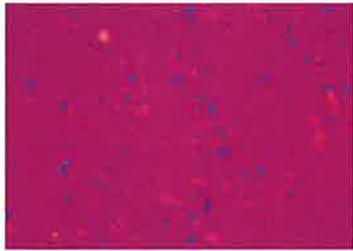
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	準備室 天井 石膏ボードEP塗装		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	2	0.1~5	-	-	-	-	-
2	紙材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-
3	石膏ボード	白色系	88	-	-	-	-	-	-
4	紙材	茶色系	5	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

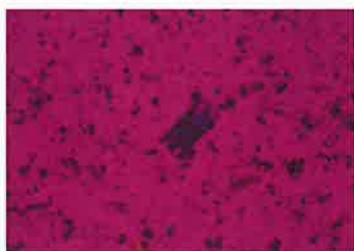
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

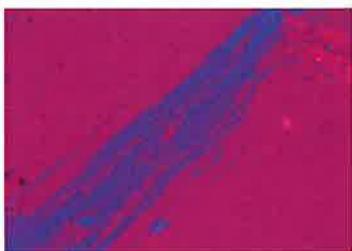
As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

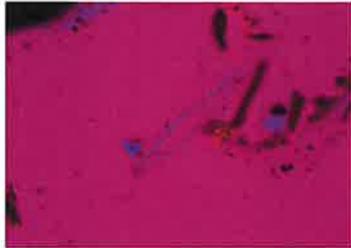
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	階段室 壁/段裏 ラフトン吹付		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	5	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	30	-	-	-	-	-	-
3	塗材	乳白色	50	-	-	-	-	-	-
4	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
5	下地調整塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徕ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徕島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	通信室 壁 ラフトン吹付		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	30	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	30	-	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	30	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

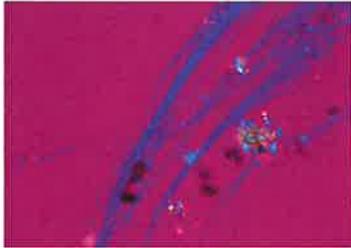
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	通信室 床 フリーアクセスフロア(表面材)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm3 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月21日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	床材 本体	茶色系	70	0.1~5	-	-	-	-	-
2	接着剤	灰色系	10	5~50	-	-	-	-	-
3	合板	茶色系	20	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

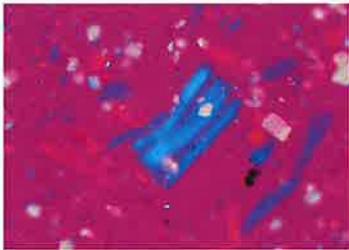
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

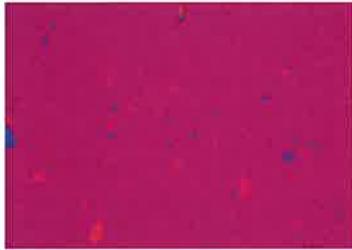
As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (徠ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃))

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (徠島津製作所 XRD-6100)

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	機械室 巾木 ソフト巾木		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	巾木	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	巾木	白色系	60	-	-	-	-	-	-
3	接着剤	灰色系	10	5~50	-	-	-	-	-
4	成形板 本体	灰色系	20	5~50	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

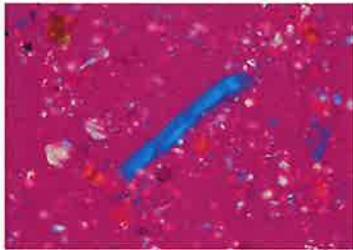
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

☎ (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第2車庫 パラペット 屋根 塗膜防水		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	塗膜防水	灰色系	50	-	-	-	-	-	-
3	塗材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	30	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88
エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号
TEL (06) 6310-6222
代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第2車庫 外部 壁/庇 アクリル系リシン吹付		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	10	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	30	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	30	0.1~5	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	30	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 有機繊維

備考 :

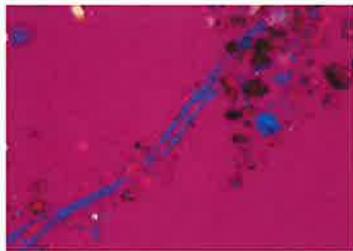
石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徕ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徕島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徕ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 株式会社島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第2車庫 柱型 柱部 複層塗材(下地シリコン吹付)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	白色系	5	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	30	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	30	0.1~5	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	35	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソファイライト)

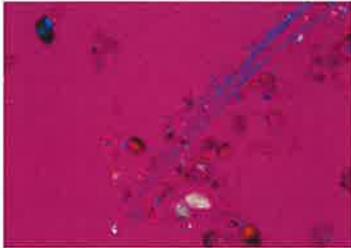
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 榊島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

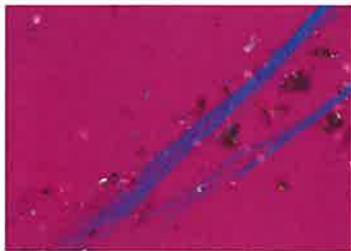
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徕ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徕島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第2車庫 屋外階段 床 防水モルタル塗		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	モルタル	灰色系	90	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

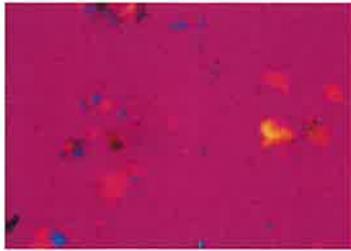
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 外部 庇 アクリル系リシン吹付		
施工年等	-		
採取年月日	2025年5月1日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	乳白色	20	-	-	-	-	-	-
2	モルタル	灰色系	80	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徧ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徧島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

石綿分析結果報告書

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88
エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号
TEL (06) 6310-6222
代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 外部 柱型 47角タイル貼		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	タイル	赤系	10	-	-	-	-	-	-
2	タイル	赤系	60	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	30	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T
非アスベスト繊維 : 無し
備考 :

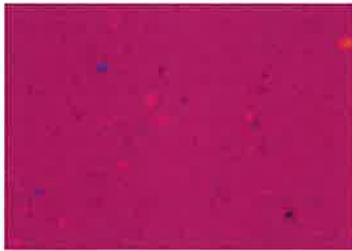
石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 その他 油性コーキング		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月22日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	コーキング	灰色系	100	0.1~5	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

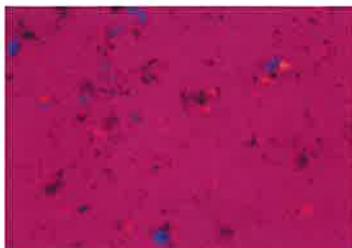
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 株式会社島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

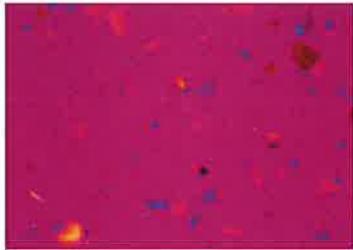
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号 : 27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 車庫内他 壁 モルタルEP塗装		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月23日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理 : 無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	乳白色	5	-	-	-	-	-	-
2	塗材	白色系	25	-	-	-	-	-	-
3	下地調整塗材	灰色系	5	0.1~5	-	-	-	-	-
4	モルタル	灰色系	65	-	-	-	-	-	-

使用機器 : 実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維 : 有機繊維

備考 :

石綿の種類 : Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

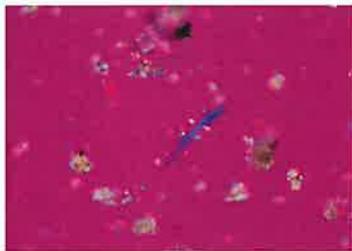
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 廊下他 壁 石綿板EP塗装		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月23日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出、アモサイト検出
----	----	------	------------------

3. 層別結果の詳細 試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	乳白色	2	-	-	-	-	-	-
2	石綿板	灰色系	98	0.1~5	0.1~5	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

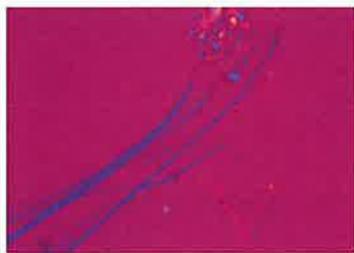
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

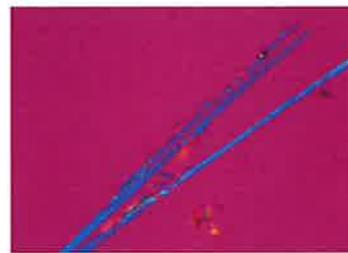
使用機器：偏光・分散顕微鏡 徕ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

検出された石綿種：アモサイト



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.680$

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徕島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 廊下他 天井 有孔吸音版下地石膏ボード		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月23日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	有孔吸音板	白色系	46	5~50	-	-	-	-	-
2	紙材	茶色系	2	-	-	-	-	-	-
3	石膏ボード	白色系	50	-	-	-	-	-	-
4	紙材	茶色系	2	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

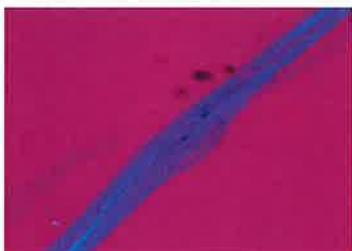
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

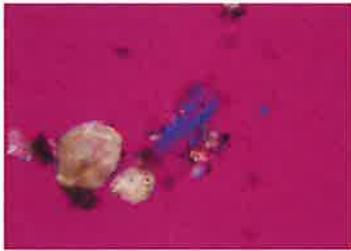
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As:検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r:試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

Tel. (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	第3車庫 廊下他 床 ノンスリップシート		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月30日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月23日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	床材 本体	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
2	床材 本体	灰色系	30	-	-	-	-	-	-
3	床材 本体	灰色系	30	-	-	-	-	-	-
4	接着剤	黄色系	10	-	-	-	-	-	-
5	下地調整塗材	灰色系	10	-	-	-	-	-	-
6	モルタル	灰色系	10	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

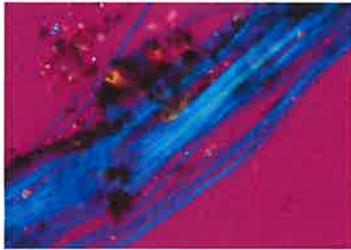
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

TEL (06)6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	付属舎 外部 屋根 折板裏断熱材		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月23日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	断熱材	乳白色	100	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：無し

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソファイライト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 ㈱ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 ㈱島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

海部東部消防組合 管理者 殿

作業環境測定機関登録番号：27-88

エヌエス環境株式会社 大阪支社
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町二丁目36番地27号

☎ (06) 6310-6222

代表者氏名 支社長 太田 均



貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定させていただきます。

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	アスベスト等調査・分析業務委託		
建物等の名称	海部東部消防組合消防本部		
試料名称	付属舎 外部 外壁 複層塗材(リシン吹付)		
施工年等	-		
採取年月日	2025年4月28日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 伊藤 尚斗		
分析日(期間)	2025年5月23日 ~ 2025年6月9日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	松本 直樹 (公社)日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 2413A0029号 三澤 穂乃香 (一社)日本繊維状物質研究協会 石綿分析調査者実技講習 第20230915-実偏性18-02号		

2. 分析結果

判定	含有無し	分析結果	無検出
----	------	------	-----

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：無し 灰化 酸処理 加熱 溶媒処理 浮遊沈降

層 (表層から)	層外観 (材質・性状)	色	層比率 (%)	検出された石綿の種類と推定含有率(%)					
				Chr	Amo	Cro	Tre	Act	Ant
1	塗材	乳白色	10	-	-	-	-	-	-
2	主材	白色系	40	-	-	-	-	-	-
3	塗材	乳白色	5	-	-	-	-	-	-
4	下地調整塗材	灰色系	20	-	-	-	-	-	-
5	モルタル	灰色系	25	-	-	-	-	-	-

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SMZ745T

非アスベスト繊維：有機繊維

備考：

石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクチノライト)、Ant(アンソフィライト)

層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1~2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

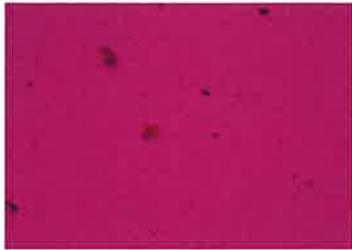
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徧ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：無検出

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徧島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2:定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3:定量用3次分析試料の秤量値(mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

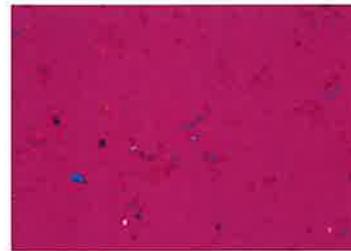
使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.550$

検出された石綿種：アクチノライト



浸液の屈折率：
 $^{25}n_D = 1.630$

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1:1次分析試料の秤量値(mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値(mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値(mg)

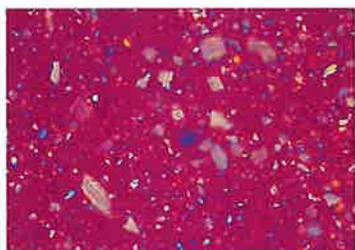
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量(mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 徠ニコン ECLIPSE LV100ND（写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃）

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D = 1.550$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

浸液の屈折率：
 $^{25^\circ\text{C}}n_D =$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 徠島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)
As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率

PCB 材種判定報告書

(整理No. 9152)

2025年5月20日

海部東部消防組合管理者 殿

日本シーリング材工業会
東京都千代田区神田須田町 1-5
〒101-0041 翔和須田町ビル 9F
会長 向井 義浩
技術委員長 福井 宏
TEL (03) 3255-2841
FAX (03) 3255-2183
URL <http://www.sealant.gr.jp>
Eメール: info@sealant.gr.jp

シーリング材種判定結果について

この度ご送付頂きましたシーリング材サンプル2箇所分は、変成シリコン系シーリング材 (MS)、及び油性コーキング材 (YC) であり、PCB 含有シーリング材ではないことが判明致しました。

材種判定結果を別紙にてご報告致します。

記

物件名:海部東部消防組合 消防本部

判定結果 PCB分析の要否: 否

以上

2025年5月20日

日本シーリング材工業会
東京都千代田区神田須田町1-5



シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定報告書〈第一次判定〉

ご依頼頂きましたシーリング材の材種及びPCB分析の要否について判定結果をご報告致します。

物件名	海部東部消防組合 消防本部 (整理No.9152)			
サ ン プ ル	No.	採取場所 (部位, 被着体)	材 種	PCB分析の要否
	1	庁舎 外部 シーリング材	MS	要・不要
	2	付属舎 シーリング材	YC	要・不要
	3			要・不要
	4			要・不要
	5			要・不要
	6			要・不要
	7			要・不要
	8			要・不要

【材種】 PS : ポリサルファイド系、NPS1 : ニューポリサルファイド系 (鉛硬化型)
 NPS2 : ニューポリサルファイド系 (イソシアネート硬化型)
 SR : シリコン系、MS : 変成シリコン系、PU : ポリウレタン系、
 AC : アクリル系、BU : ブチルゴム系、YC : 油性コーキング材、ET : その他

- (1) 判定は既存シーリング材の見分け方 (外観・指触・燃焼など) に基づいて実施しました。
- (2) 判定がPSの場合のみPCBが含有されている可能性があります。サンプルを返却致しますので、第二次判定でPCB含有有無分析を専門の分析機関 (ホームページに掲載) に依頼してください。
- (3) 分析でPCBを含有していることが判明した場合、建物所有者は「廃棄物処理法の特別管理産業廃棄物保管基準」に従い適切に保管し、「ポリ塩化ビフェニール廃棄物の適正処理の推進に関する特別措置法」に基づき、保管等の届出をしてください。
- (4) 判定がPCB含有PS以外のシーリング材の廃棄は、安定型廃棄物 (廃プラスチック類) として処理してください。

《問合せ先》 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 (翔和須田町ビル9F)

日本シーリング材工業会 事務局 URL <http://www.sealant.gr.jp>

TEL : 03-3255-2841、FAX : 03-3255-2183、e-メール : info@sealant.gr.jp

現場写真集

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:1

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:1

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:1

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:2

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:2

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:2

採取後

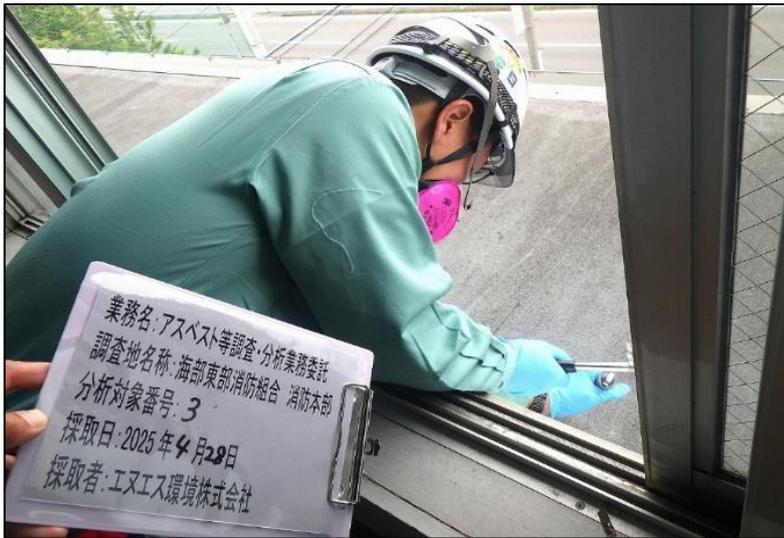
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 3

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 3

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 3

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:4

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:4

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:4

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 5

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 5

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 5

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 6

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 6

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 6

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:7

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:7

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:7

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:8

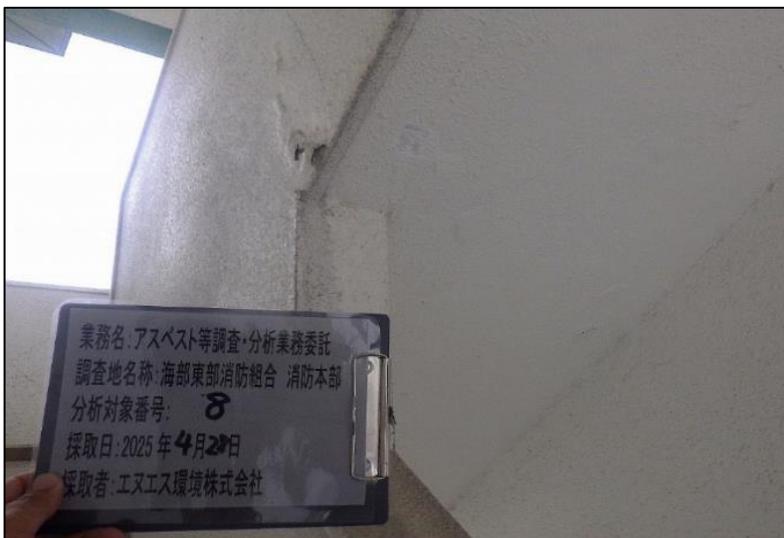
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:8

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:8

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:9

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:9

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:9

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:10

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:10

採取中

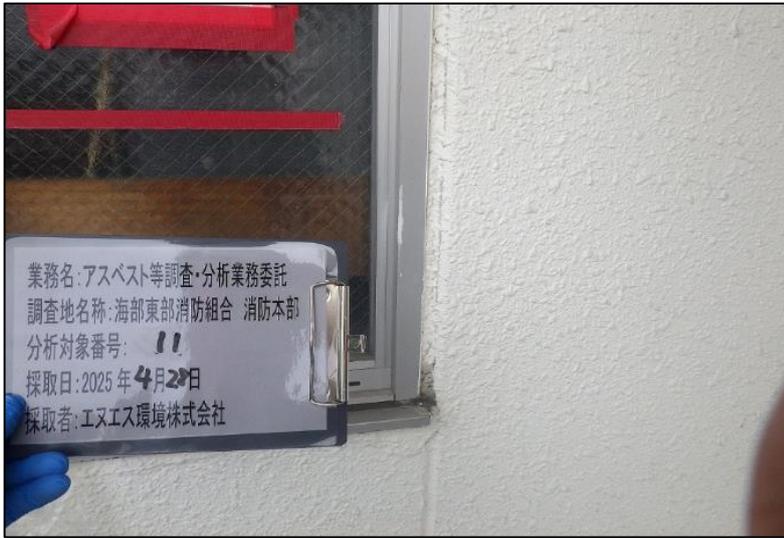


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:10

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:11

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:11

採取中

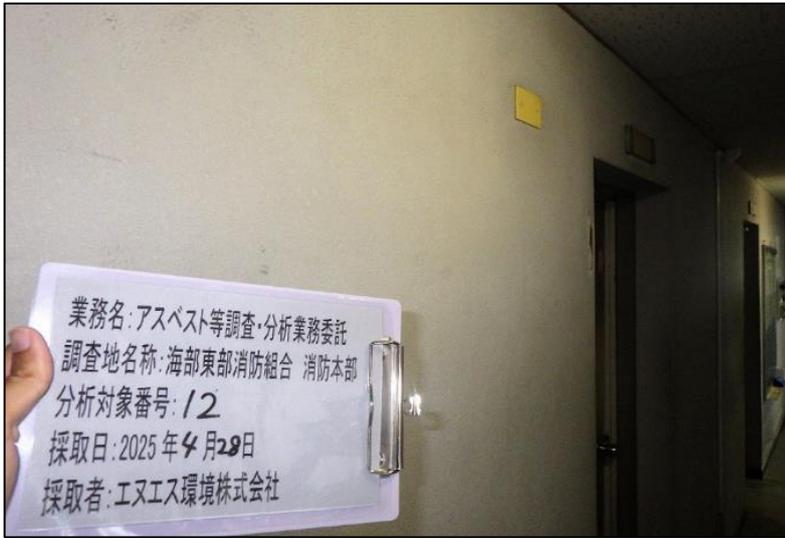


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:11

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:12

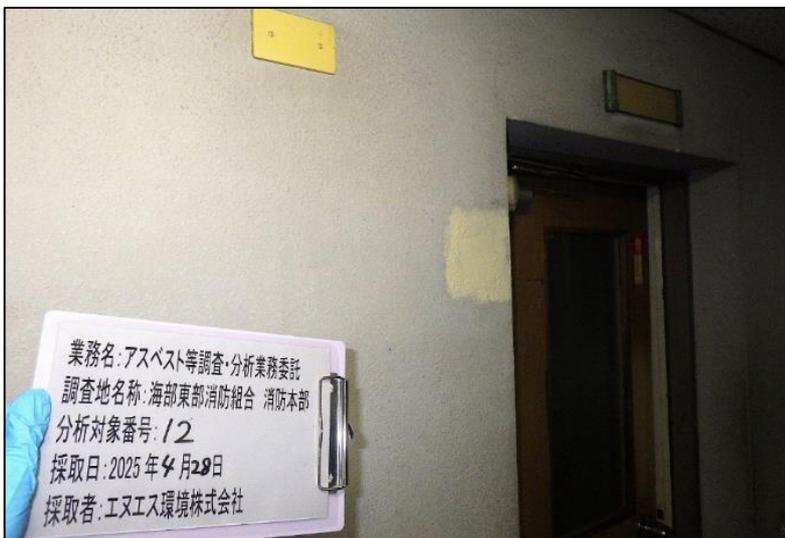
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:12

採取中

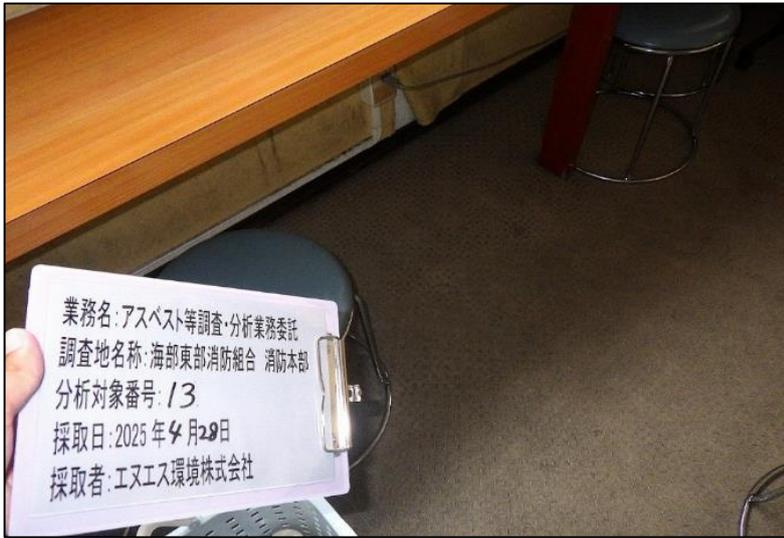


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:12

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:13

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:13

採取中

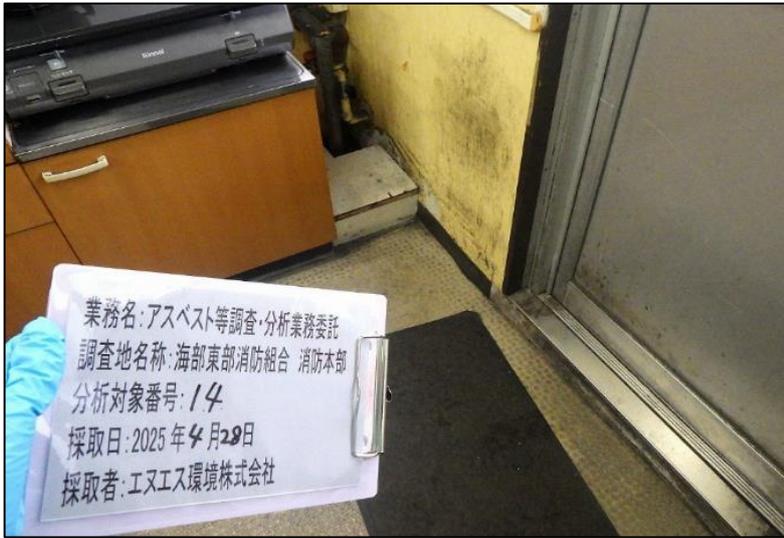


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:13

採取後

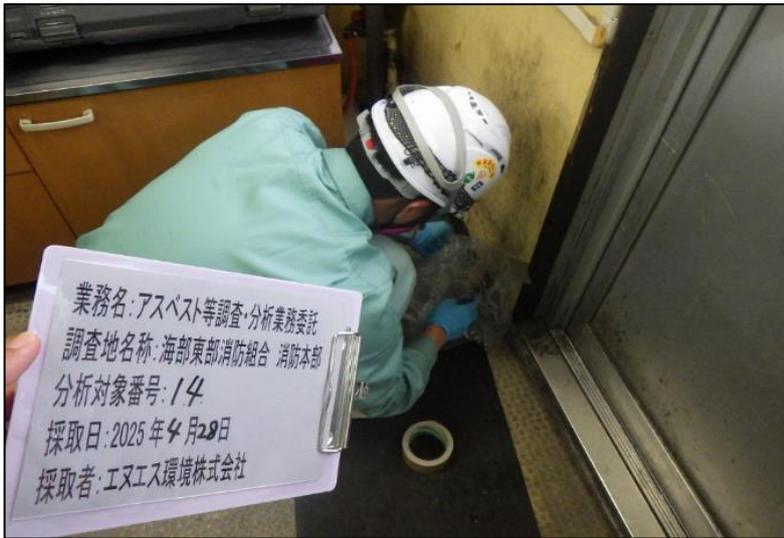
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:14

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:14

採取中

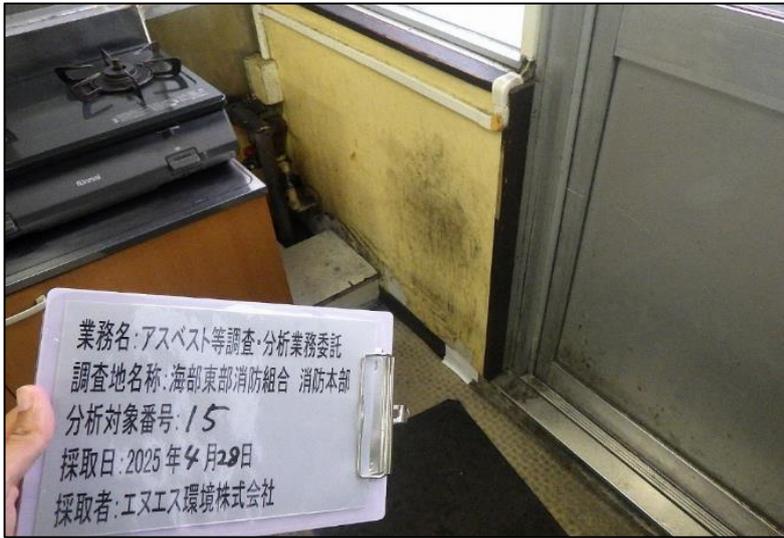


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:14

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:15

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:15

採取中

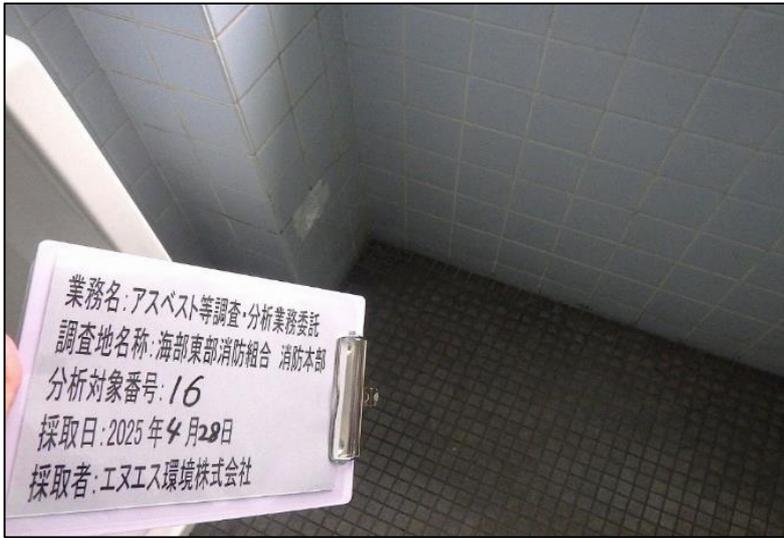


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:15

採取後

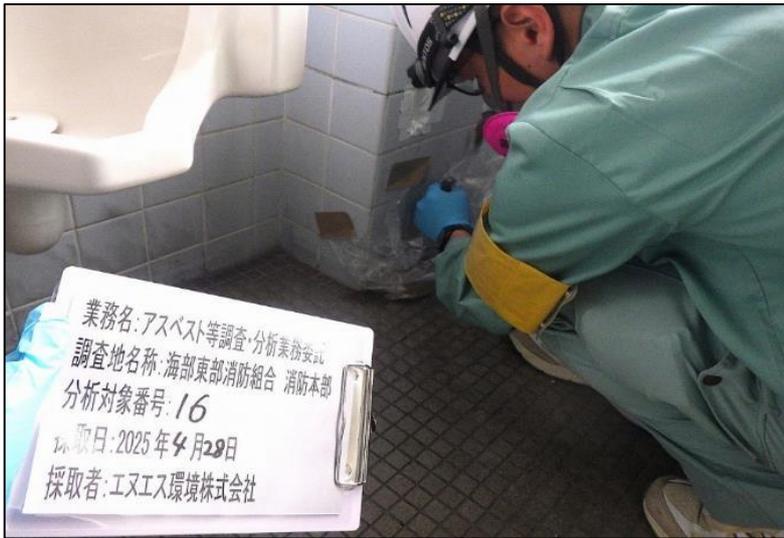
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:16

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:16

採取中

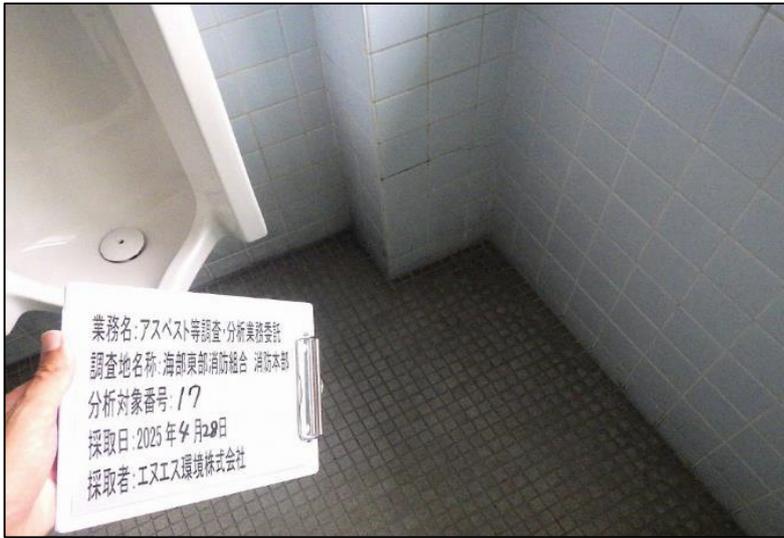


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:16

採取後

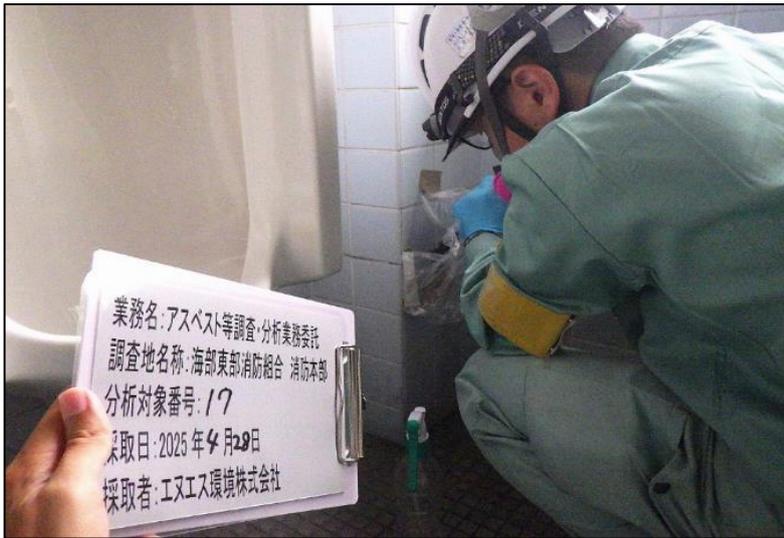
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:17

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:17

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:17

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 18

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 18

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 18

採取後

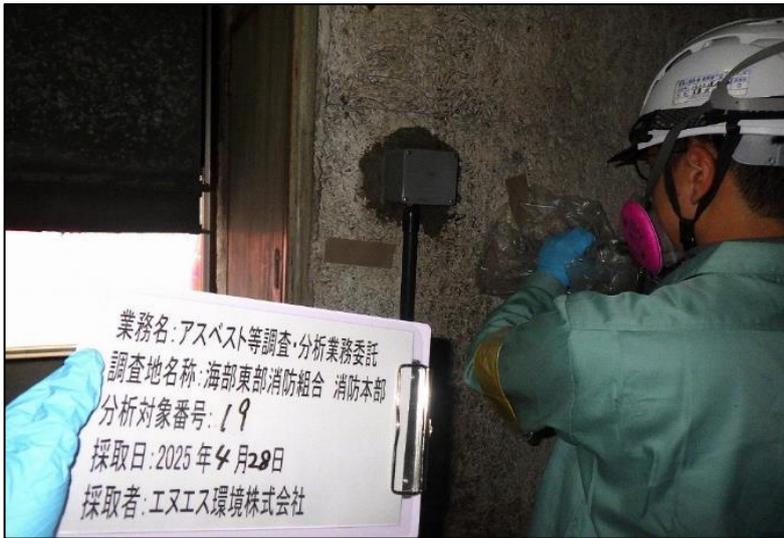
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:19

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:19

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:19

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 20

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 20

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 20

採取後

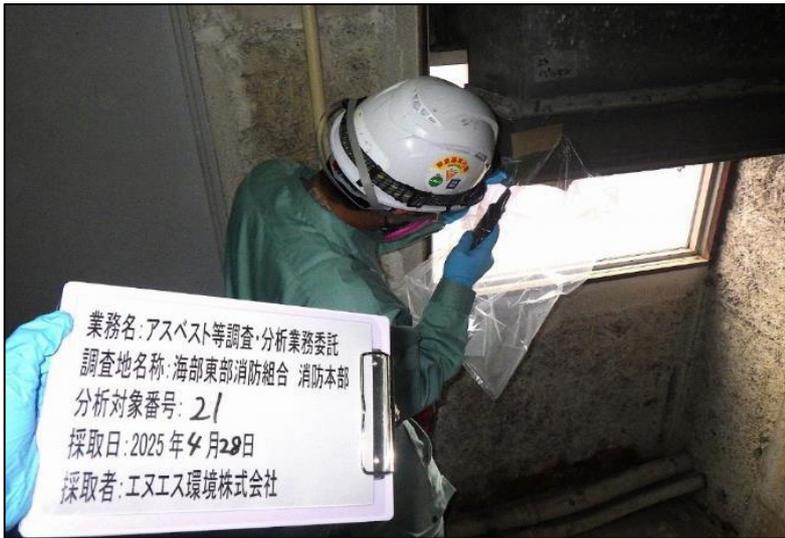
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 21

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 21

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 21

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:22

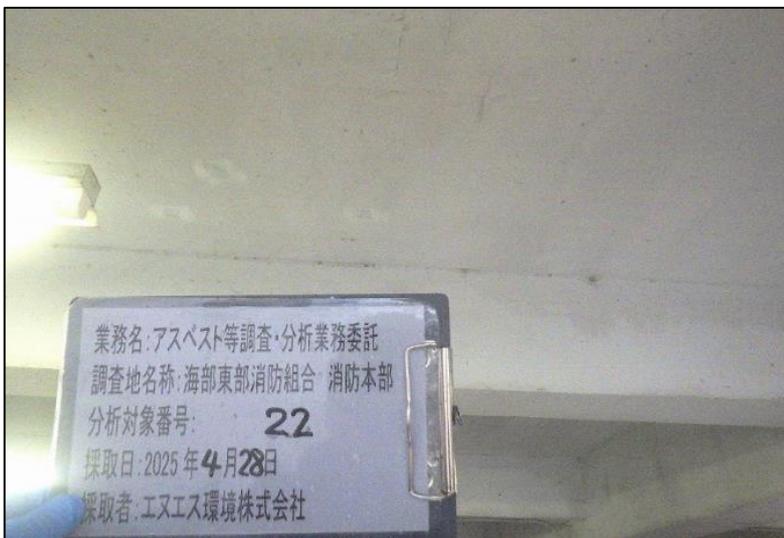
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:22

採取中

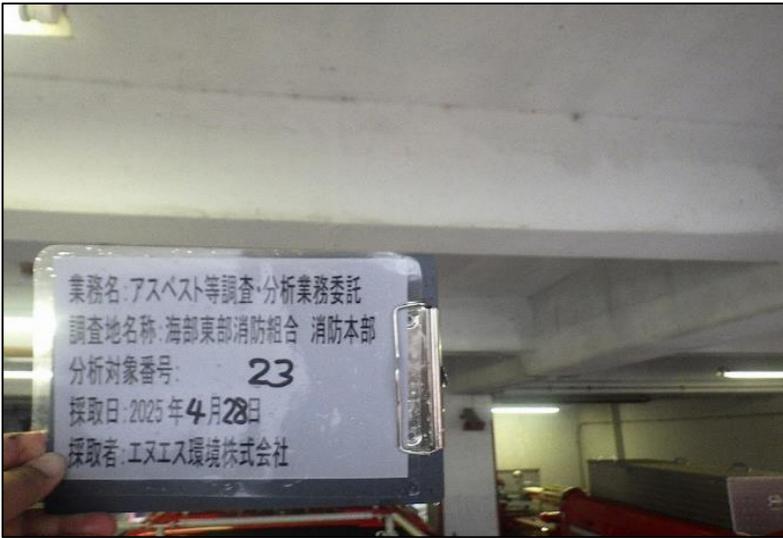


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:22

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 23

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 23

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 23

採取後

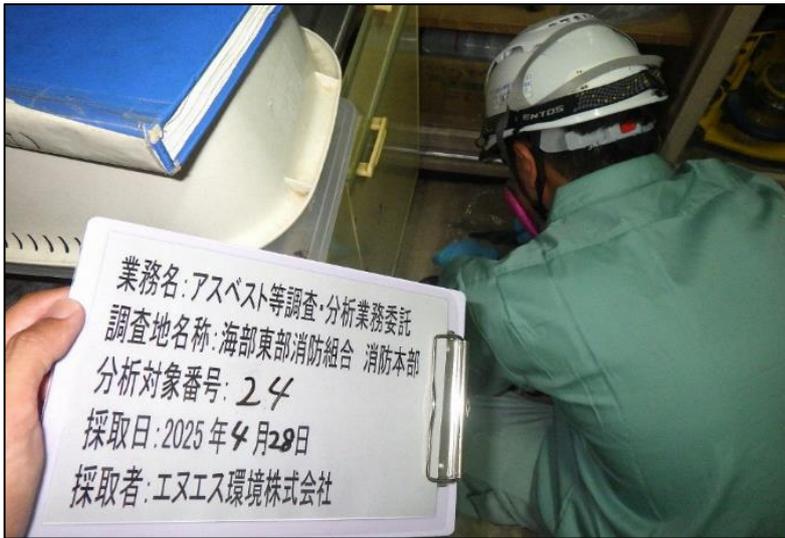
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:24

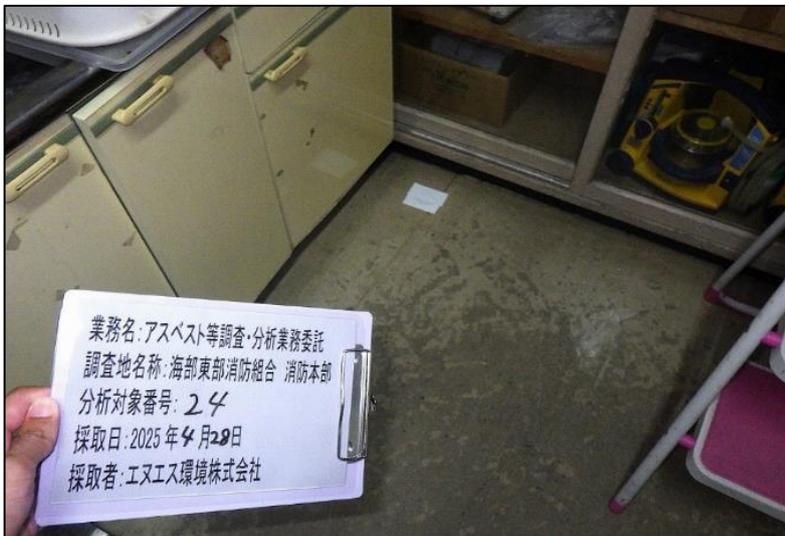
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:24

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:24

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:25

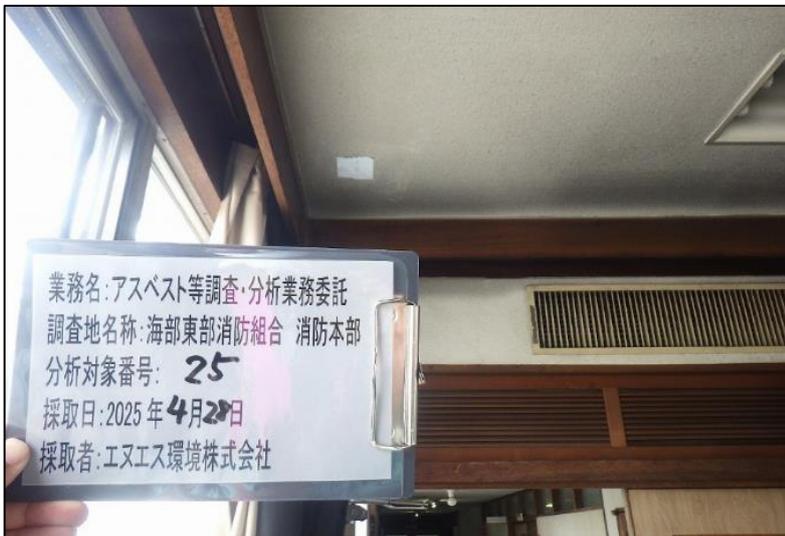
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:25

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:25

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:26

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:26

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:26

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:27

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:27

採取中

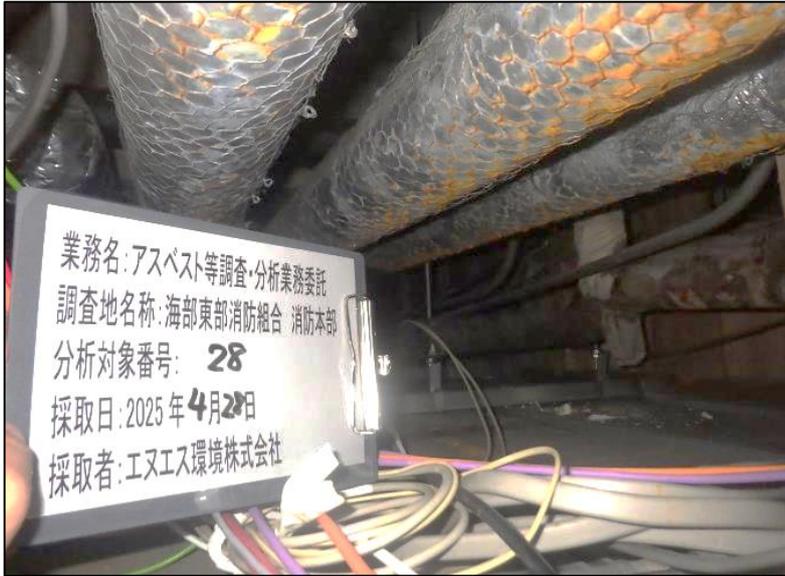


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:27

採取後

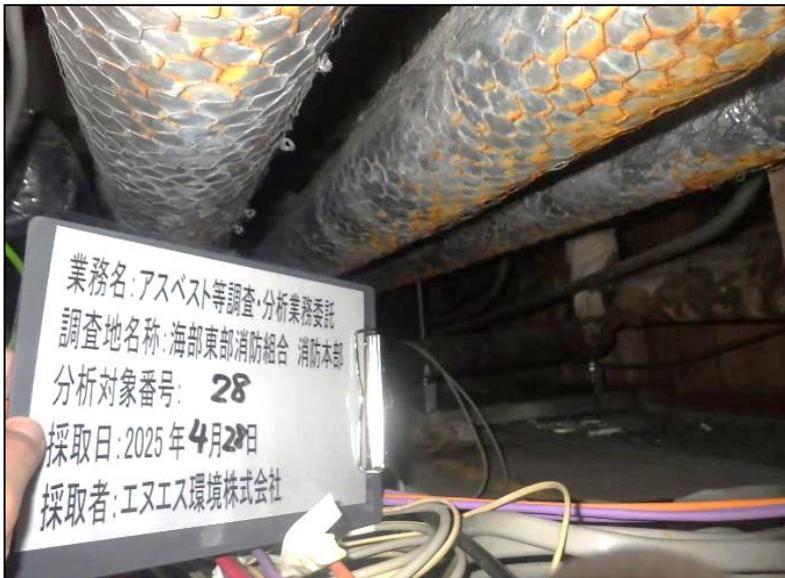
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:28

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:28

採取中

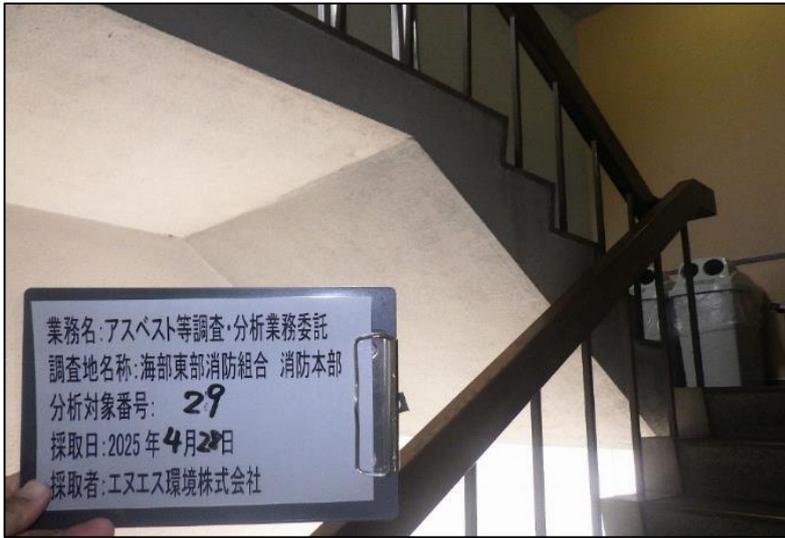


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:28

採取後

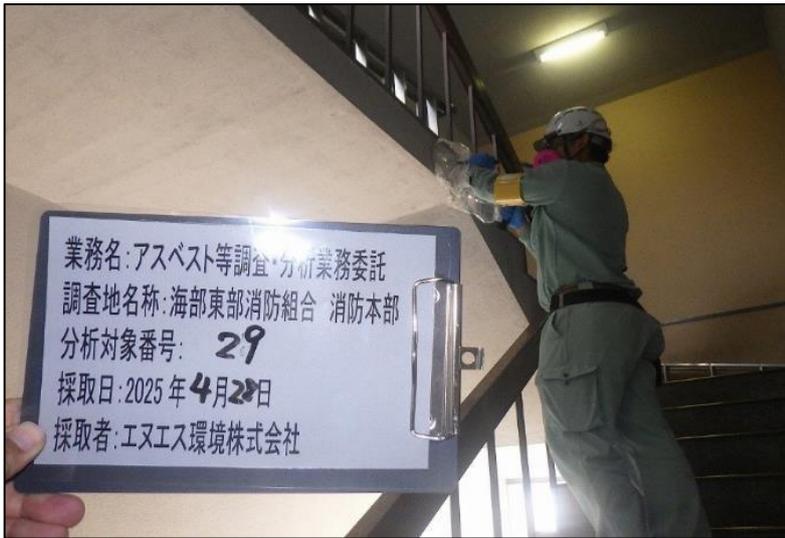
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:29

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:29

採取中

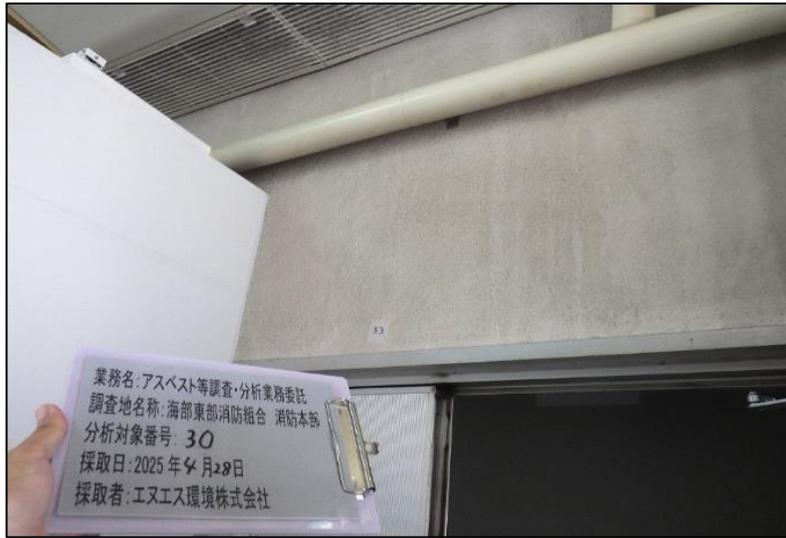


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:29

採取後

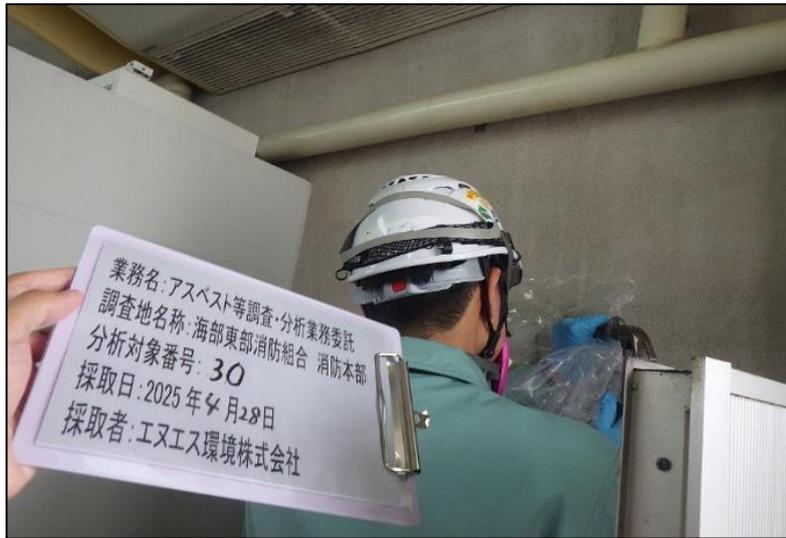
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:30

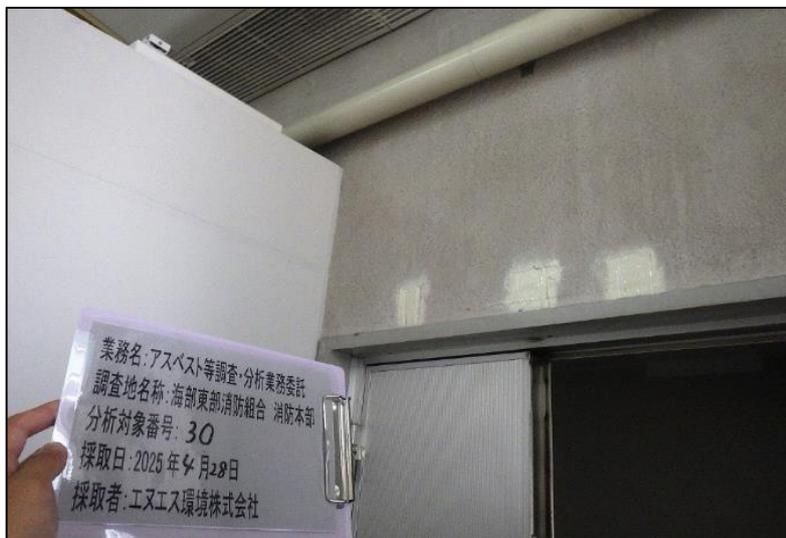
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:30

採取中

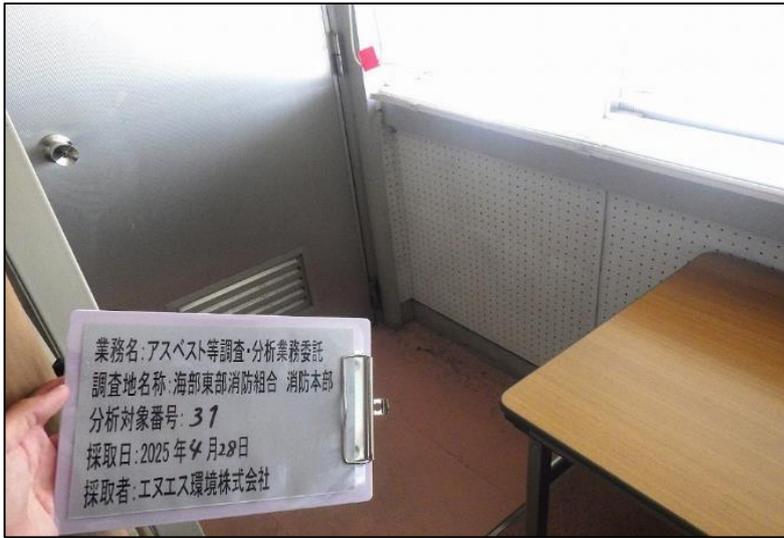


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:30

採取後

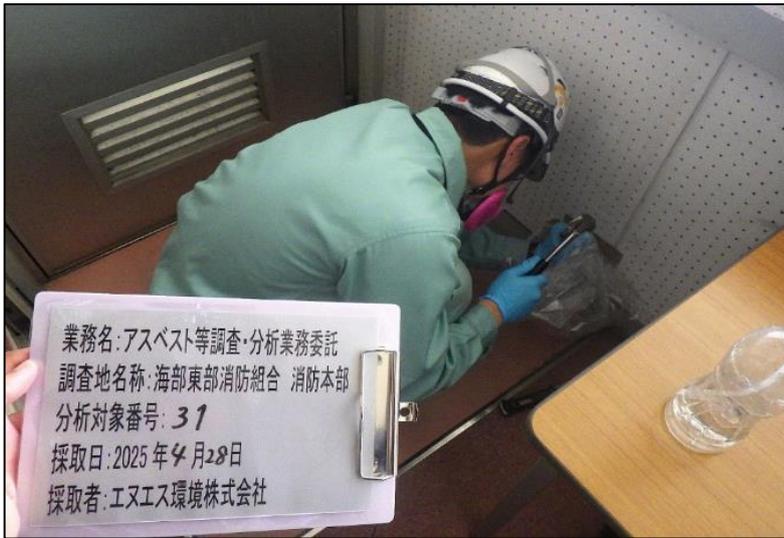
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:31

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:31

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

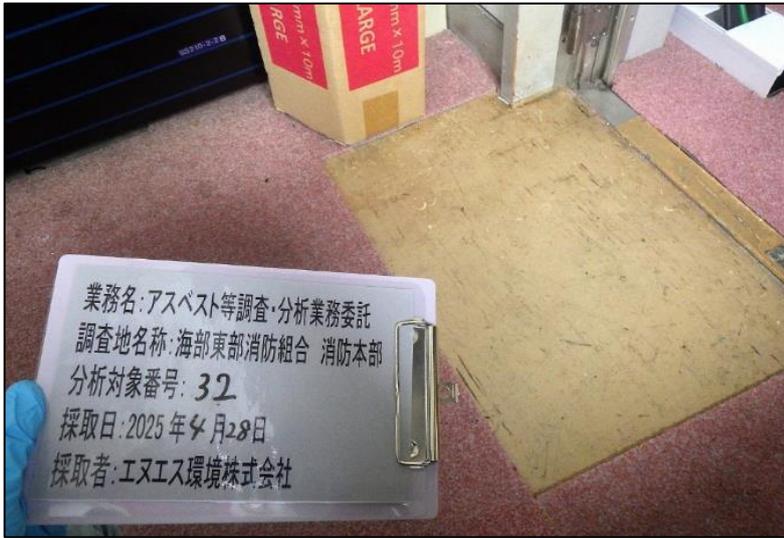
分析対象番号:31

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託

位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

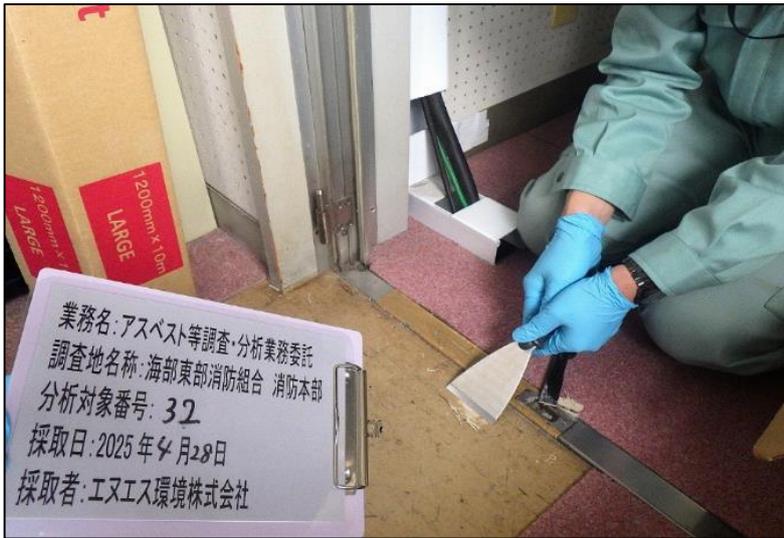
分析対象番号: 32



採取前

位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

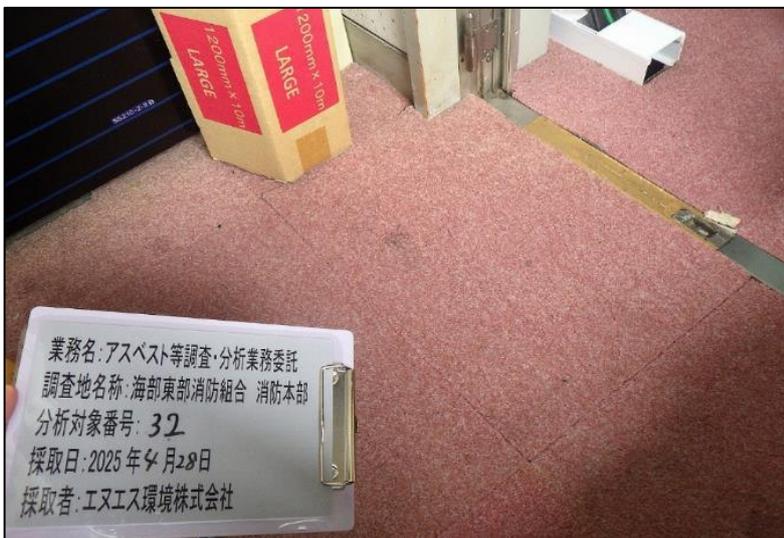
分析対象番号: 32



採取中

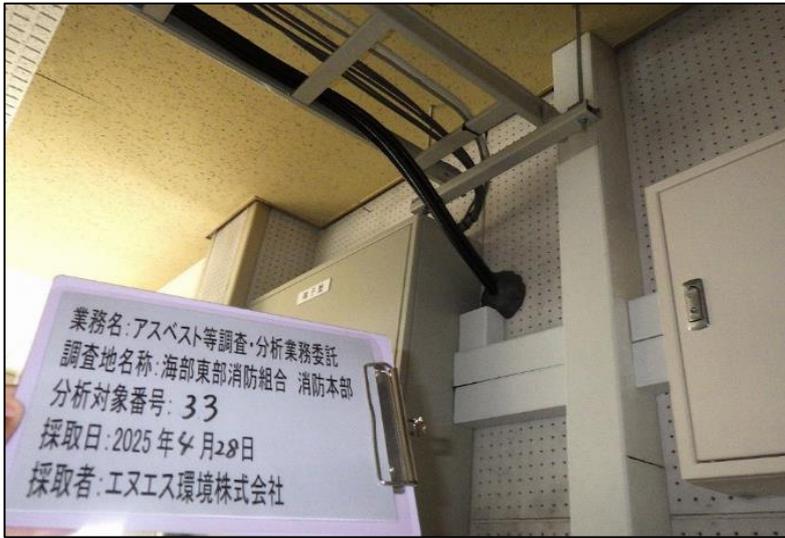
位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 32



採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 33

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 33

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 33

採取後

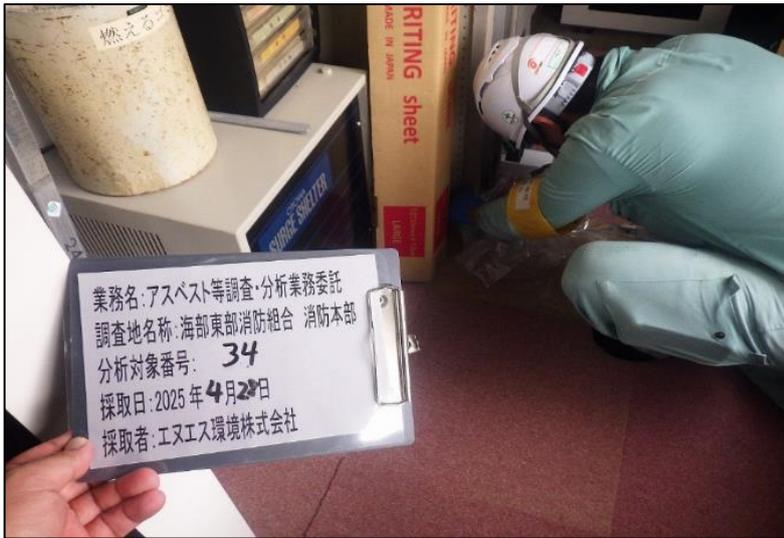
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:34

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:34

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:34

採取後

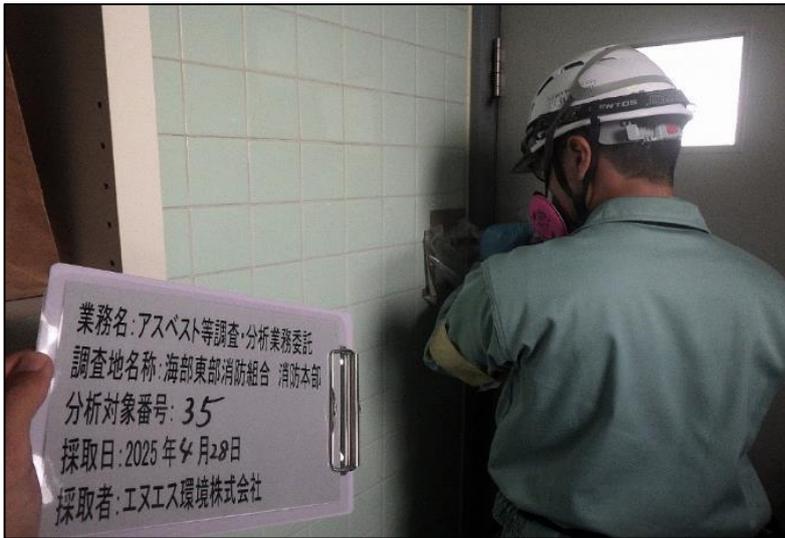
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:35

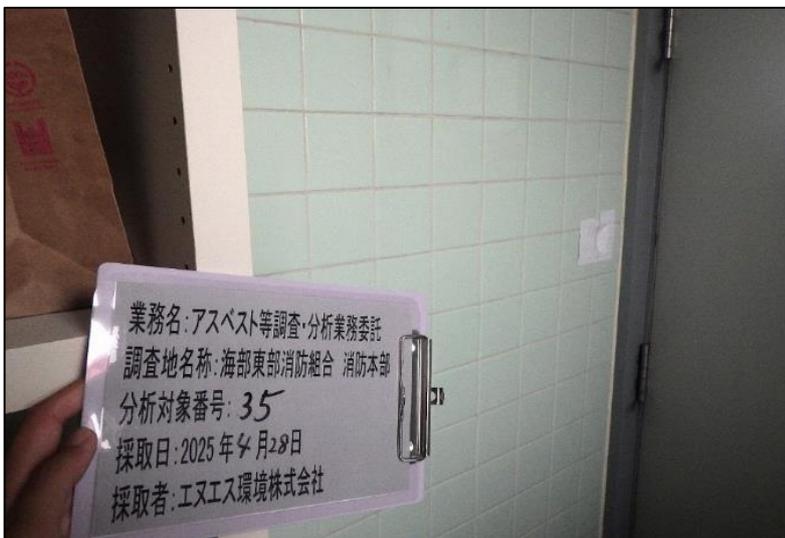
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:35

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:35

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 36

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 36

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 36

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 37

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 37

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 37

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:38

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:38

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:38

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:39

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:39

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:39

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 40

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 40

採取中

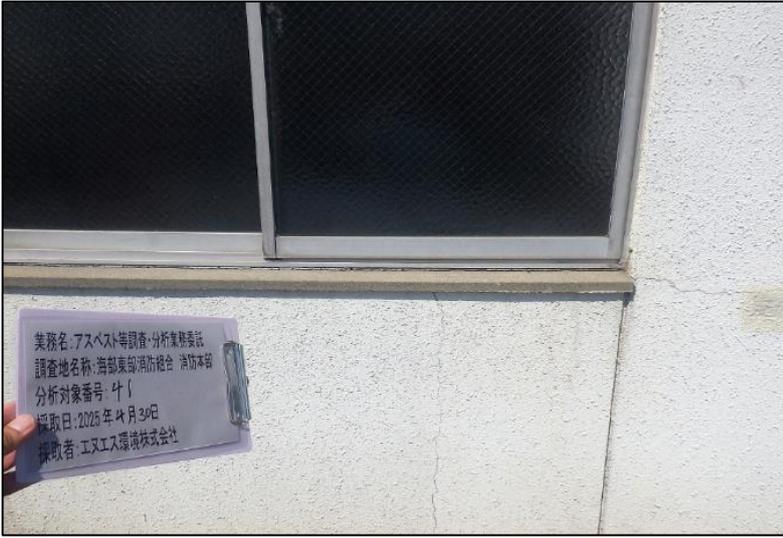


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 40

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 41

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 41

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 41

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 42

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 42

採取中

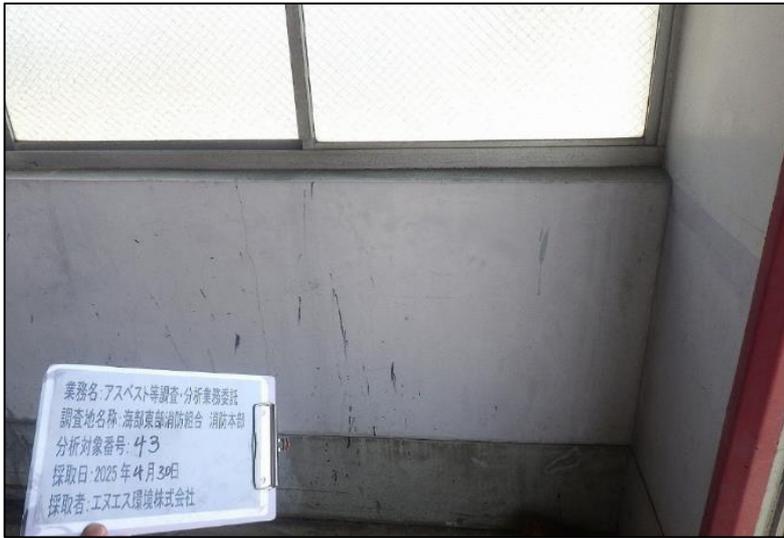


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 42

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:43

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:43

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:43

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:44

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:44

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:44

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 45

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 45

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 45

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:46

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:46

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:46

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 47

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 47

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 47

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:48

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:48

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:48

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:49

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:49

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:49

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 50

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 50

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 50

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:51

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:51

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:51

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 52

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 52

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 52

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:53

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:53

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年5月7日

分析対象番号:53

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:54

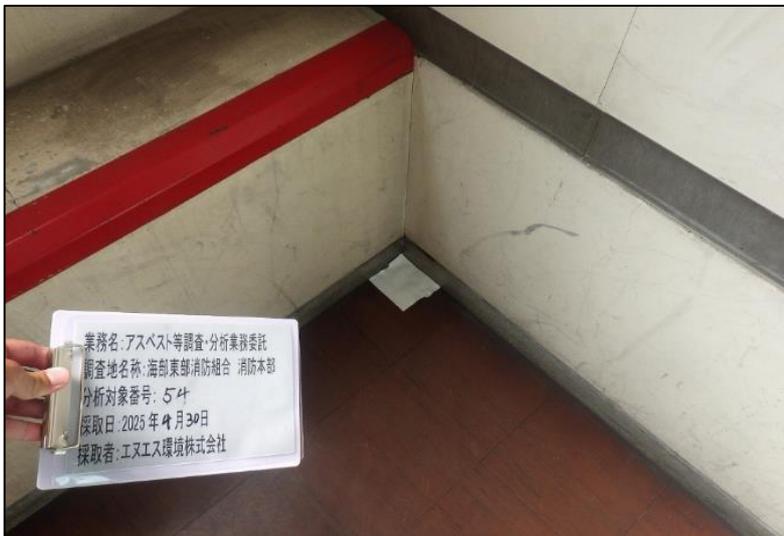
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:54

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:54

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 55

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 55

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 55

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 56

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 56

採取中

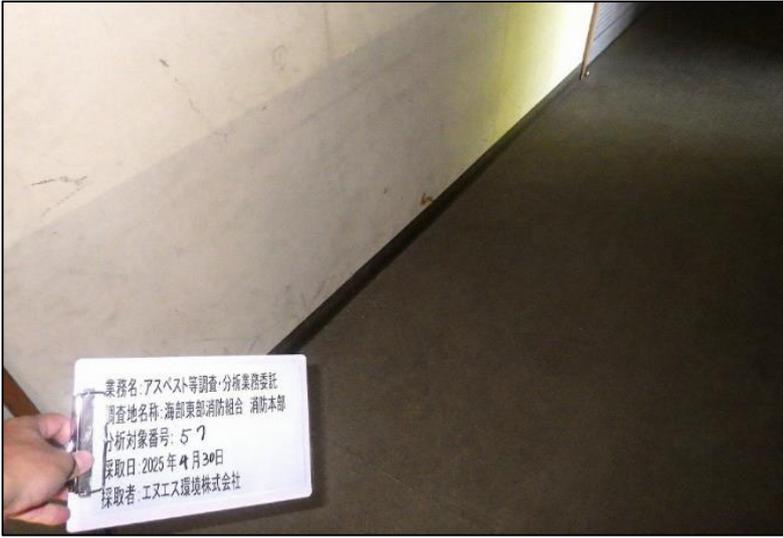


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 56

採取後

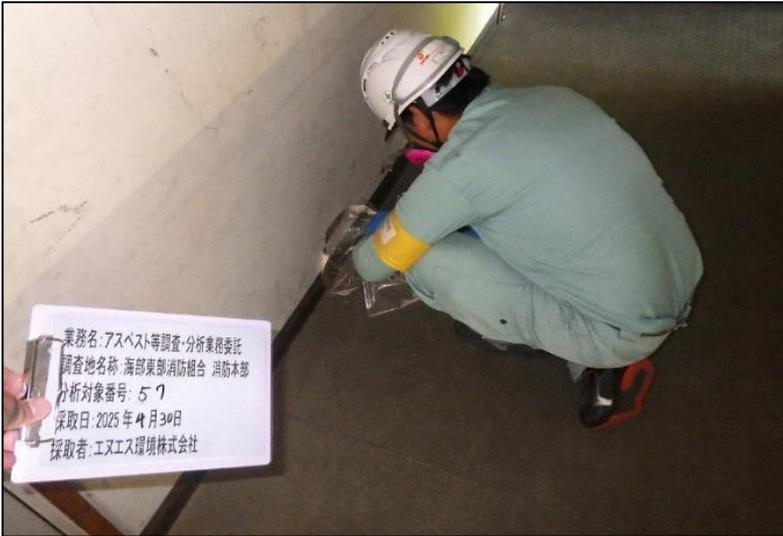
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:57

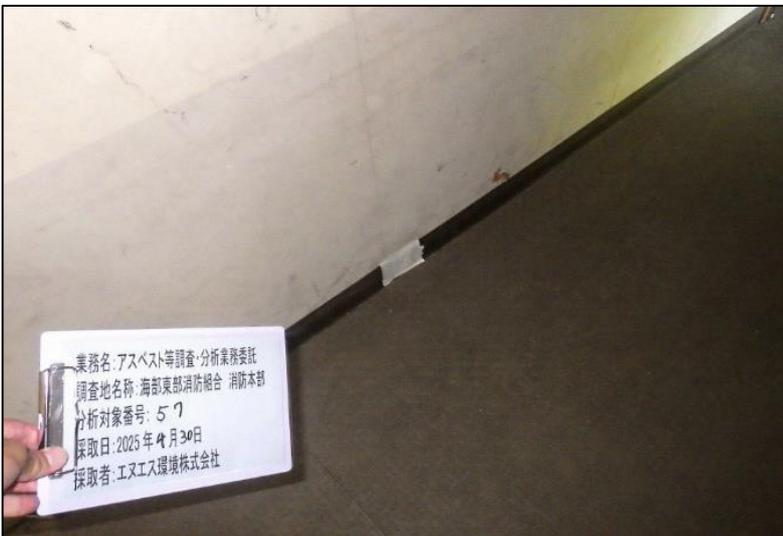
採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:57

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号:57

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 58

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 58

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 58

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 59

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 59

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月30日

分析対象番号: 59

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:60

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:60

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:60

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 61

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 61

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 61

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 62

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 62

採取中

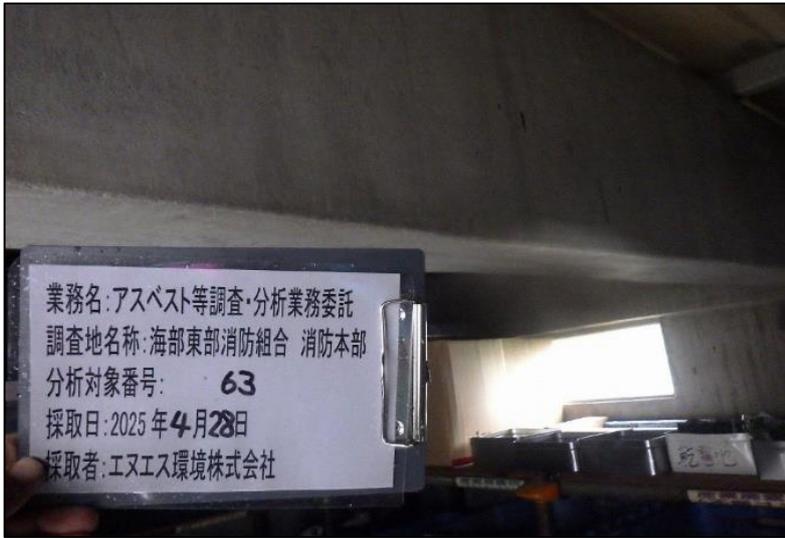


位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号: 62

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:63

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:63

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:63

採取後

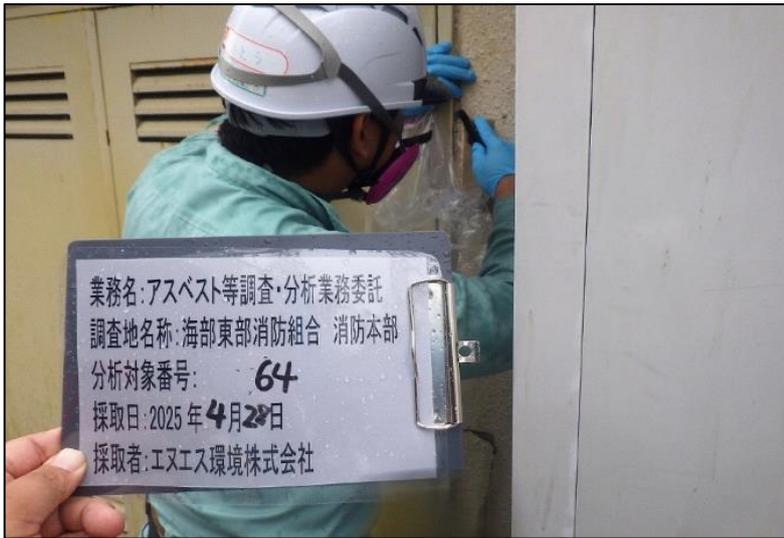
アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:64

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:64

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年4月28日

分析対象番号:64

採取後

アスベスト等調査・分析業務委託



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年6月18日

分析対象番号: 65

採取前



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年6月18日

分析対象番号: 65

採取中



位置: 海部東部消防本部
撮影日: 2025年6月18日

分析対象番号: 65

採取後